

取扱説明書

FlexScan® P5072

カラープラズマディスプレイ

重要

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、
正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。



絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告


この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。




注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。




注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。



禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。



行為を強制したり指示するものです。たとえば  は「アース線を接続すること」を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会（旧日本電子工業振興協会）の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの漏洩電流に関するガイドライン（PC-11-1988）に適合しております。

本装置は、平成 6 年 10 月 3 日付け経済産業省エネルギー庁公益事業部長通達、6 資公部 第 378 号、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



Copyright© 2002-2003 株式会社ナナオ All rights reserved.

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Windows および Microsoft は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

VGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。


VESA、DPMS は Video Electronics Standards Association の商標です。

Macintosh は Apple Computer Inc. の登録商標です。

Pivot はポートレートディスプレイ株式会社の登録商標です。

ScreenManager、PowerManager は株式会社ナナオの商標です。EIZO、FlexScan は株式会社ナナオの登録商標です。その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

 使用上の注意	4
第1章 はじめに	9
1-1. 特長	9
1-2. 梱包品の確認	10
1-3. 各部の名称	11
1-4. リモコンの準備	13
第2章 設置	14
2-1. 付属スタンド取り付け方法	14
2-2. 設置方向・角度について	15
2-3. 壁面への取り付け	16
第3章 接続手順	17
3-1. コンピュータとの接続	17
3-2. AV 機器との接続	21
3-3. 音声の接続	24
3-4. 接続ケーブルの処理について	25
第4章 操作方法	26
4-1. リモコン操作	26
4-2. ScreenManager 操作	29
4-3. 画面調整 (コンピュータ アナログ信号)	32
4-4. 画面調整 (コンピュータ デジタル信号)	37
4-5. 画面調整 (AV 機器)	39
4-6. カラー調整	42
4-7. 音声の調整	44
第5章 便利な機能	45
5-1. 節電機能	45
5-2. 各種機能	48
5-3. 複数台使う	53
5-4. その他の機能	57
第6章 故障かなと思ったら	58
第7章 お手入れ	63
第8章 仕様	64
第9章 用語集	67
第10章 さくいん	69
アフターサービス	71

⚠ 使用上の注意

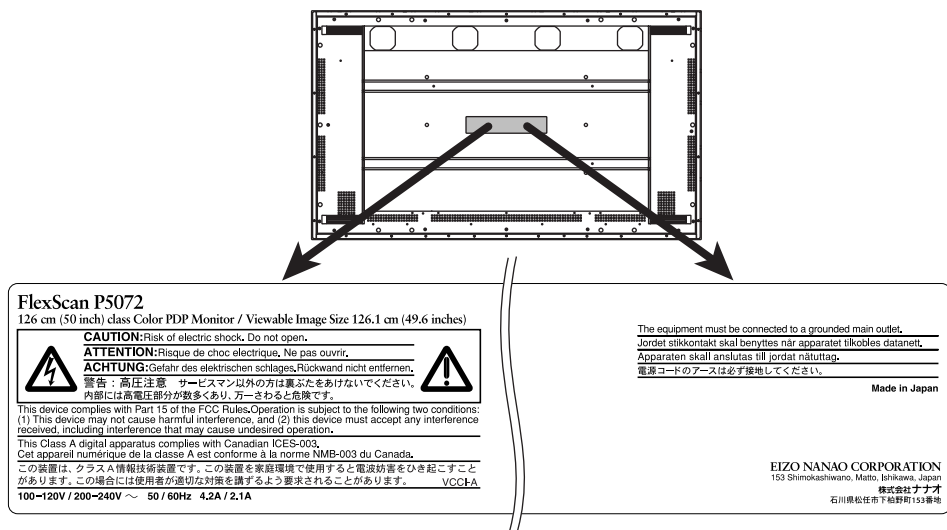
重要

- 本製品は、日本国内専用品として製造・販売されております。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This monitor is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

- ご使用になる前には、「使用上の注意」および製品背面の「警告表示」をよくお読みになり、必ずお守りください。

【背面警告表示位置】



⚠ 警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する



そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温の部分があり感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



警告

異物を入れない、液体を置かない

本体内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、本体内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。



不安定な場所に置かない

転倒により、火災や感電、けが、故障の原因となります。

本機の重さ（約 44kg）に耐える丈夫で安定した場所に置いてください。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。



次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載。
 - 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
 - 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。
 - 背面の通風孔をふさぐような設置をしない。
-



転倒防止処置をする

地震など非常時の安全確保と事故（火災、感電、けが）を防止するためです。（処置方法については、p.15 を参照してください。）



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

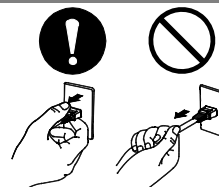
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードや信号ケーブルを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

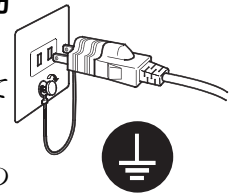


警告

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界放射低減のため、アースリード（緑）を接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

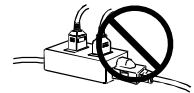
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外の接続。
- タコ足配線。



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



乾電池の取り扱いに注意する

誤った使用は破裂や液漏れの原因となります。

- 分解や加熱をしたり、濡らしたりしない。
- 電池の取り付け、交換は正しくおこなう。
- 交換は、2本とも新しい同じ種類（単4形）を使う。
- プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れる。
- 廃棄時は地域指定の「電池回収箱」などへ入れる。



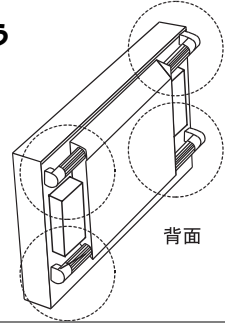
注意

運搬のときは、接続コードを外す

コードを引っ掛け、けがの原因となります。



製品は重いので、運搬は2人以上で右図持ち手（4ヵ所）を持ち、おこなう腰などを痛める原因となります。



通風孔をふさがない

- 通風孔の上や周囲に本や書類など、ものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 横倒しや逆さにして使わない。（設置可能な向き・角度については、p.15を参照してください。）



通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。

ディスプレイの上に乗らない、重いものを置かない

転倒、落下によりけがの原因となります。



濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にもものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く



正しくご使用いただくために

- 静止画や画面の一部のみを動画として使用し、高輝度部と低輝度部が隣接した映像を連続して表示する場合は、パネルの一部に熱が集中し寿命劣化や故障の原因となることがあります。このような使用状態の場合は、ブライトネスの設定を下げてください。
 - 30秒以内での電源オン/オフの繰り返しをおこなわないようにしてください。保護回路が働いて、動作が停止することがあります。
 - 高圧変圧器、電動モーターなどの強磁気から離して設置してください。画面揺れやノイズの原因となることがあります。
 - 長時間ディスプレイ画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。
 - 画面を見るときは3m以上離れて見てください。画面に近すぎると目が疲れたり、気分が悪くなる恐れがあります。
-

パネルの焼き付きについて

- 長時間同じ画面を表示したままにしないでください。長時間同じ画面を表示していると、その部分の輝度が変化し、画面が焼き付くことがあります。画面が焼き付いてしまうと、完全に元に戻ることはありません。
 - パネルを保護するために、「スクリーンガード機能」の使用をおすすめします。(→p.50 参照)
-

第 1 章 はじめに

このたびは当社カラープラズマディスプレイ P5072 をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 50 型高精細プラズマパネル搭載 (パネル解像度 (p.68) : 1280 ドット×768 ライン)
- 幅広い設置環境への対応
 - * 本体の持ち運びに便利なハンドルつき (4 ヶ所)
 - * 床置き用ディスプレイスタンド付属
 - * 壁掛け用のアタッチメント取り付けを準備 (ディスプレイ背面)
- コンピュータと AV 機器の同時接続が可能
 - * 映像コネクタと音声コネクタの同時切り換え可能
 - * ピクチャーインピクチャーによる 2 画面同時表示可能
- コンピュータ アナログ信号 2 系統入力搭載 (D-Sub×2)
 - * 水平周波数 : 31.5~94kHz
 - * 垂直周波数 : 50~85Hz (1600 ドット×1200 ライン入力時 : 75Hz)
 - * オート調整機能、画面調整ソフト (付属) による容易な画面調整
 - * ケーブル長 (1.8m~120m) による画面劣化の補正機能搭載
- コンピュータ デジタル信号 1 系統入力搭載 (DVI-D)
 - * DVI (p.67) デジタル入力 (TMDS (p.67)) 対応
 - * 水平周波数 : 31.5~64kHz
 - * 垂直周波数 : 60Hz (VGA TEXT 時 : 70Hz)
- 3 種のビデオコネクタ (D 端子 (p.67) /S 映像入力端子/映像入力端子) を搭載し、各種 AV 機器接続に対応
 - * D1~D4 規格および NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL・SECAM 信号に対応
- 焼き付き防止のスクリーンガード機能搭載
- 音声外部出力コネクタおよびスピーカー出力端子搭載
- リモコンによる簡単操作、各種調整/設定が可能
- リモコンにマウス機能搭載
- マルチスクリーン表示機能搭載
- 縦型表示対応
(縦型表示のためにはポートレートディスプレイ株式会社の Pivot Plasma Software が必要です。Pivot Plasma Software の入手方法については、ポートレートディスプレイ社のホームページ : <http://www.portrait.co.jp/> をご覧ください。)
- 電源スタンバイ (リモコンスタンバイ) 時の消費電力 0.3W 以下を実現

1-2. 梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

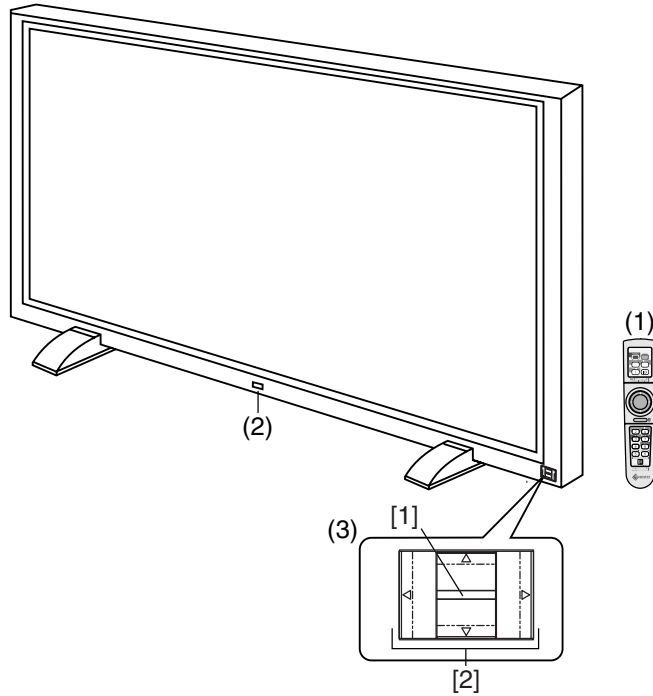
- P5072 本体
- 二芯アダプタ
- 電源コード
- 信号ケーブル (FD-C13) : D-SUB ミニ 15 ピン-D-SUB ミニ 15 ピン
- 音声ケーブル (MD-C102) : ステレオミニジャック-RCA
- PS/2 マウスケーブル (FD-C14)
- ケーブル用クランプ 大、小 各 2 個
- スタンド 2 個
- スタンド取付ネジ (M8×40mm) 2 本
- リモコン、ストラップ
- リモコン用乾電池 (単 4 形) 2 本
- EIZO PDP ユーティリティディスク
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書

参考

- 梱装箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。

1-3. 各部の名称

前面



- (1) リモコン※¹
- (2) リモコン受光部/ディマーセンサー/電源ランプ※²

緑	オペレーションモード
オレンジ	節電モード
オレンジ (ゆっくり点滅)	電源スタンバイ (リモコンスタンバイ) 状態

- (3) 操作パネル※¹
 - [1] 電源/エンターボタン※³
 - [2] コントロールボタン (上・下・左・右) ※⁴

※¹ 調整や設定はリモコンでおこないます。操作パネルはリモコン操作ができない場合に使用します。(p.26参照)

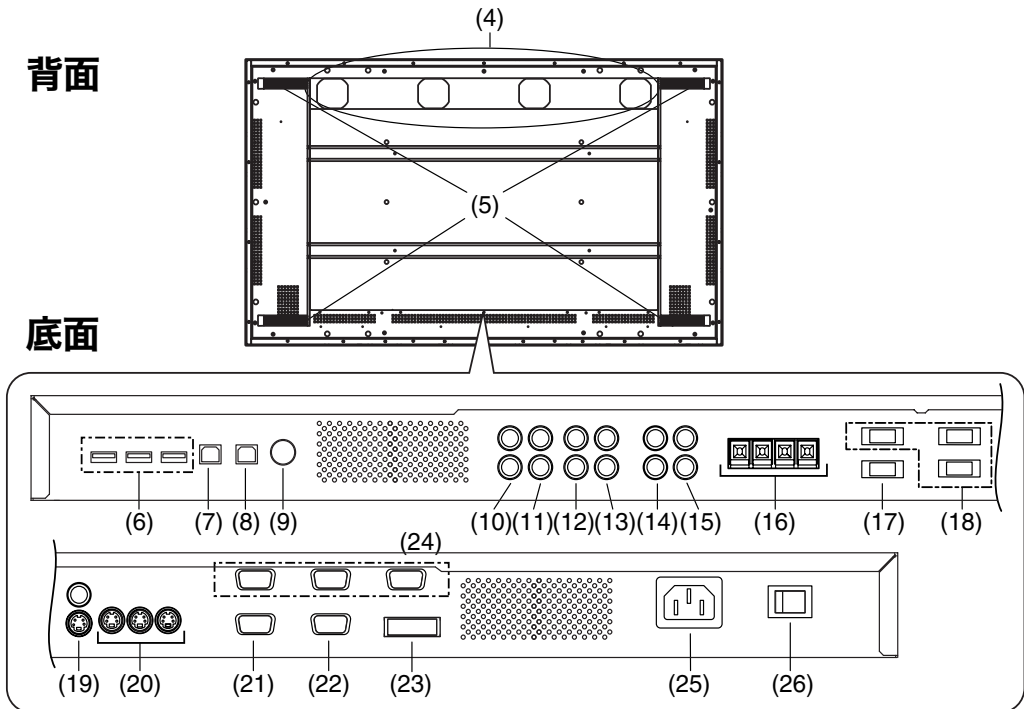
※² PowerManager/オフタイマー設定時の電源ランプ表示については p.45~48を参照してください。

※³ 主電源スイッチが入っている場合に、2 秒以上押し続けると電源がオン/オフされます。

※⁴ エンターボタンを押さずに、直接左・右のコントロールボタンを押すと入力信号が切り換わります。

背面

底面

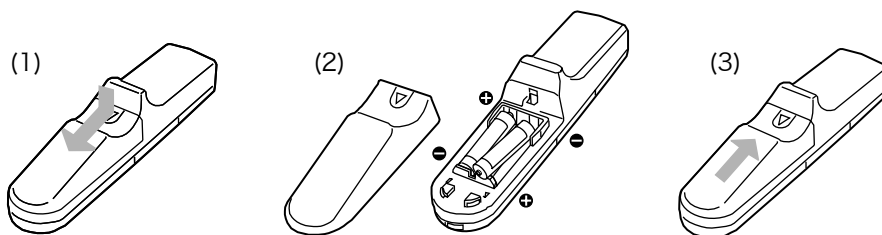


- (4) ファン ×4 カ所
- (5) ハンドル部 (運搬用持ち手) ×4 カ所
- (6) USB ダウンストリーム×3 (工場調整用)
- (7) USB アップストリーム (工場調整用)
- (8) USB アップストリーム (p.20参照)
- (9) PS/2 コネクタ (p.20参照)
- (10) (AV1 INPUT) 音声入力端子
- (11) (AV2 INPUT) 音声入力端子
- (12) (PC1 INPUT) 音声入力端子
- (13) (PC2 INPUT) 音声入力端子
- (14) (PC3 INPUT) 音声入力端子
- (15) (LINE OUTPUT) 音声出力端子
- (16) (SPEAKER OUTPUT) スピーカー出力端子
- (17) (AV1 INPUT) D 端子(D1-D4)
- (18) (AV1 OUTPUT) D 端子×3
- (19) (AV2 INPUT) 前部：映像入力端子(Video)
後部：S 映像入力端子(S-Video)
- (20) (AV2 OUTPUT) S 映像出力端子×3
- (21) (PC1 INPUT) D-Sub15 ピン ミニコネクタ(D-Sub)
- (22) (PC2 INPUT) D-Sub15 ピン ミニコネクタ(D-Sub)
- (23) (PC3 INPUT) DVI-D コネクタ(DVI)
- (24) (PC1, 2 OUTPUT) D-Sub15 ピン ミニコネクタ×3
- (25) 電源コネクタ
- (26) 主電源スイッチ

1-4. リモコンの準備

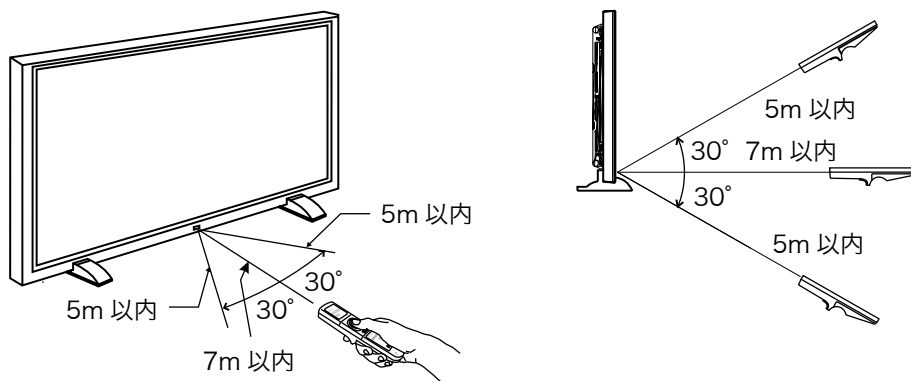
電池の入れ方

【リモコン背面】



- (1) フタを押しながら矢印の方向にスライドさせ、フタを取り外します。
- (2) 単4形電池を2本入れます。+、-方向を確認して入れてください。
- (3) 「カチッ」と音がするまでフタを閉めます。

リモコン受信範囲



注意点

- ディスプレイのリモコン受光部に向けて操作してください。またリモコン受光部とリモコンの間に障害物がないようにしてください。
- 本機の近くで電子点灯（インバータ）回路方式の蛍光灯を点灯するとリモコンが動作しないことがあります。このようなときは蛍光灯から離してご使用ください。

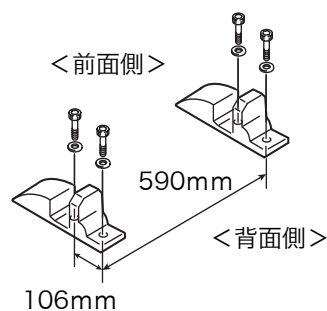
第 2 章 設置

2-1. 付属スタンド取り付け方法

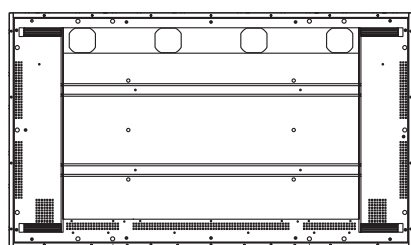
注意点

- 付属のスタンドは設置する場所に必ず固定してください。なお、スタンドを固定するためのネジは、固定場所に対応した市販品の M10 のネジをお買い求めの上ご使用ください。

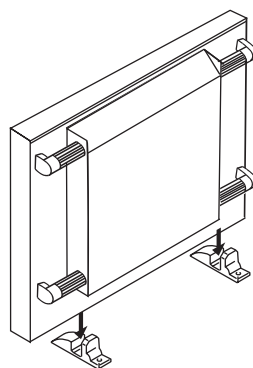
1. 市販の M10 のネジで付属のスタンドを設置場所に固定します。(4 ヲ所)



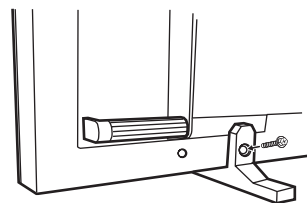
2. スタンドに本体を差し込みます。



取り付け位置 (内側 2 ヲ所)

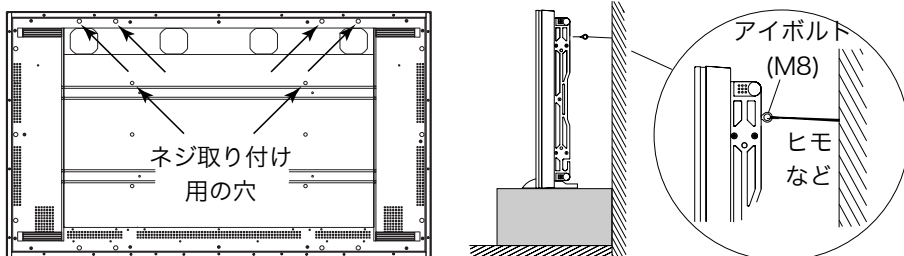


3. 付属のネジ (M8 × 40mm) で本体を固定します。



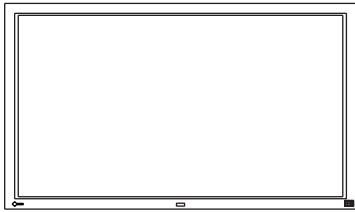
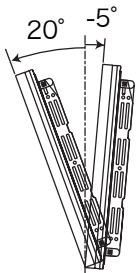
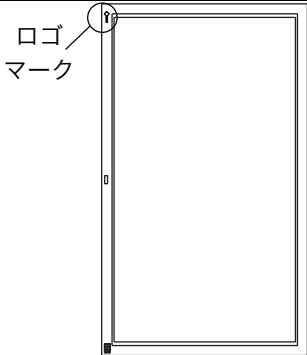
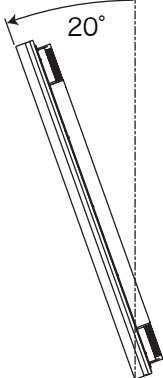
4. 転倒防止の処置をしてください。

本体背面に転倒防止のためのネジを取り付けることのできる穴があります。市販のアイボルト(M8)をご用意いただき、本体に取り付け、丈夫なヒモなどで壁面にしっかりと固定してください。左右対称に1ヵ所ずつに取り付けることをおすすめします。なお、壁は確実に固定できる場所を選んでください。



2-2. 設置方向・角度について

本機の設置可能な方向および角度は以下のとおりです。
付属のスタンドを使用しない場合は、方向・角度に注意して設置してください。

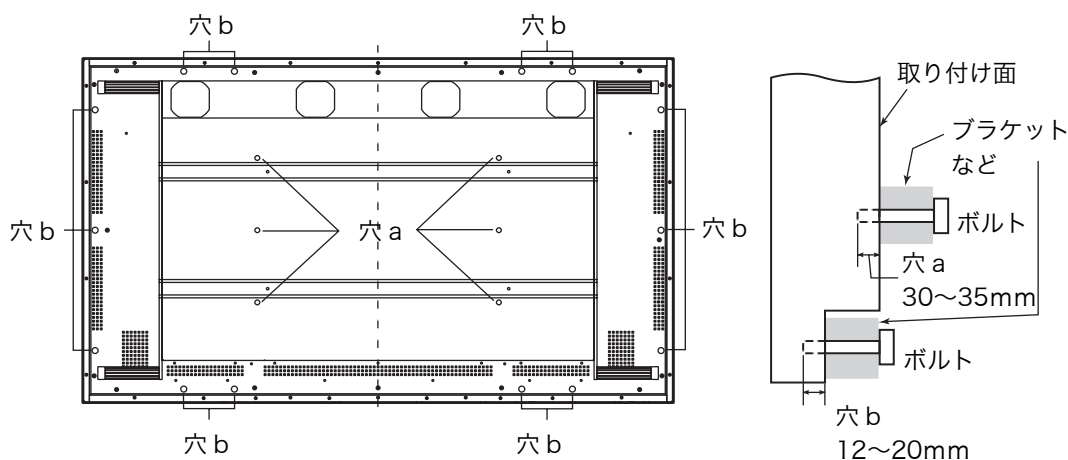
方向		角度	
横		横置きの場合 : $-5^{\circ} \sim 20^{\circ}$	
縦	 *EIZO ロゴマークが上にくること	縦置きの場合 : $0^{\circ} \sim 20^{\circ}$	

2-3. 壁面への取り付け

本機は壁面への取り付けなどに対応できるようにボルト穴が施してあります。取り付けに使用するボルト穴は下図のとおりです。

(穴にかぶせてあるホールリベットは、コインなどで回すとはずれません。)

取り付け穴位置



取り付け条件

設置場所	本体にはガラスが使われていますので、凹凸やゆがみがない平面に取り付けてください。
強度	本体重量 (約 44kg)
取り付け箇所	中心線の左と右、上と下の少なくとも 4 ヶ所以上で固定
ボルト穴 a	30~35mm
ボルト穴 b	12~20mm
ボルト	M8 (P=1.25mm) *これ以外は使用できません。

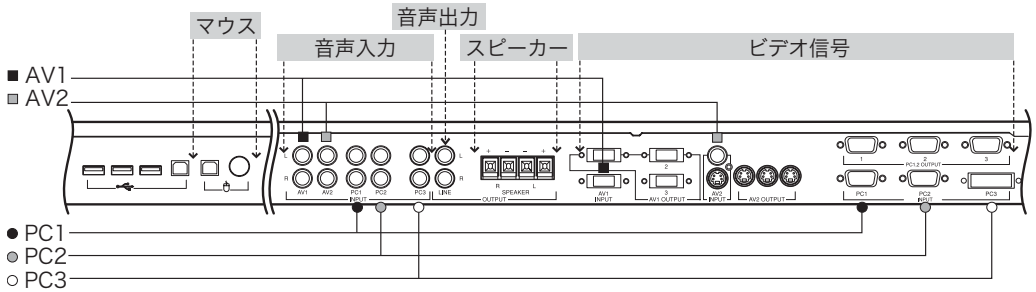
注意点

- 設置における事故や故障に対しては、当社は一切の責任を負いかねます。付属のスタンド以外の設置については、お買い上げの取扱店または専門業者にご相談ください。

第3章 接続手順

最大5種類の信号を同時に接続できます。入力信号にあったコネクタに接続してください。ビデオ信号と音声入力は連動しています。

コネクタ

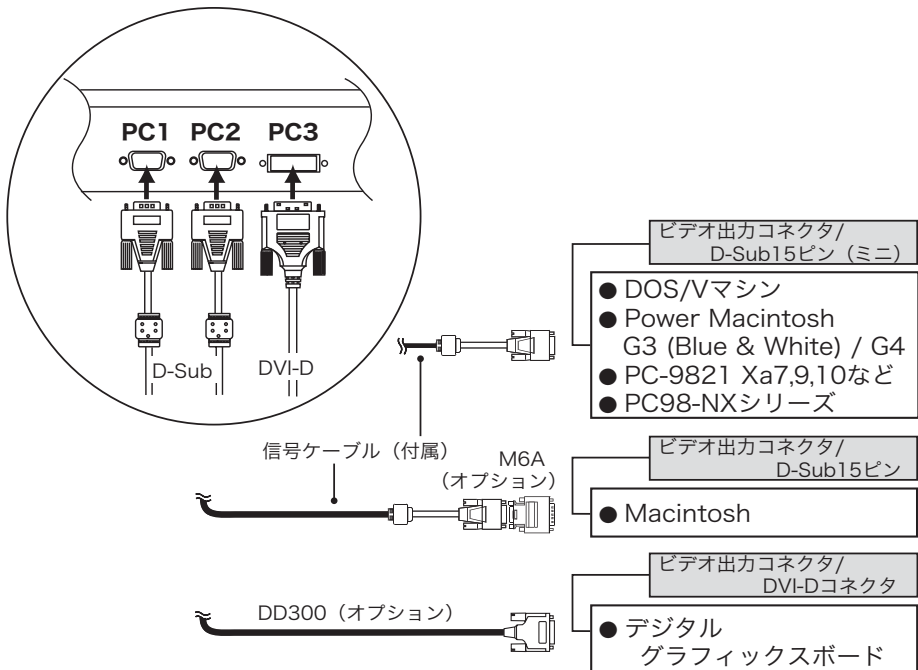


3-1. コンピュータとの接続

コンピュータを接続する場合は、PC1/2 INPUT (D-Sub) または PC3 INPUT (DVI-D) に接続します。

参考

- 複数台使用する場合は、53ページを参照してください。



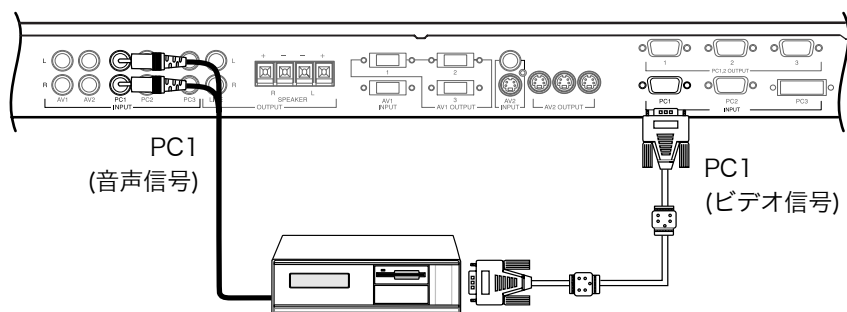
注意点

- ディスプレイとコンピュータの電源が入っていないことを確認してください。

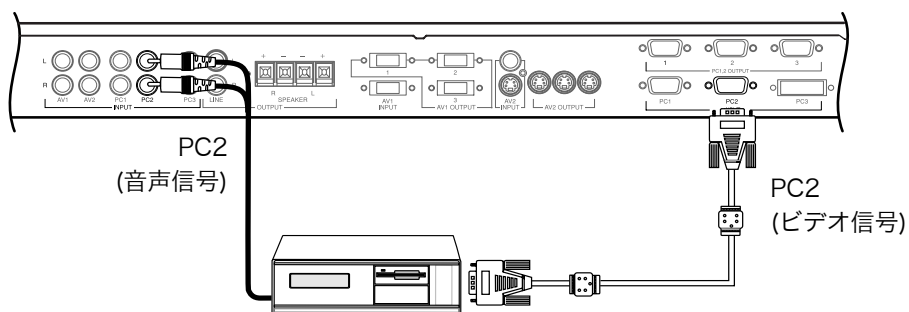
1. 信号ケーブルを入力コネクタとコンピュータに接続します。

接続後、各コネクタの固定ネジをしっかりと回して確実に固定してください。

PC1 INPUT (D-Sub 接続の場合)



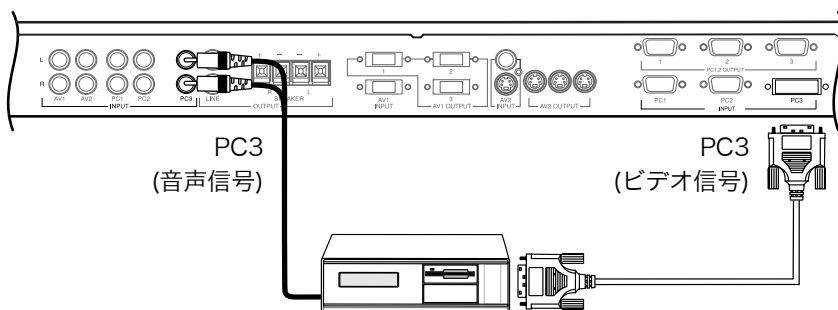
PC2 INPUT (D-Sub 接続の場合)



注意点

- 音声入力、ビデオ信号を PC1 INPUT に入力する場合は PC1 INPUT に、PC2 INPUT に入力する場合は PC2 INPUT に接続してください。
- ディスプレイのプラグアンドプレイ機能について
お使いのコンピュータが VESA DDC に対応したシステムの場合、本機をコンピュータに接続するだけで特別な設定をすることなく、最適な解像度、リフレッシュレートの設定が可能になります。

PC3 INPUT (DVI-D 接続の場合)



注意点

- 音声入力は、PC3 INPUT に接続してください。

2. 電源コードを電源コネクタと電源コンセントに接続します。



警告

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

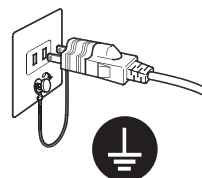
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



3. 電源を入れます。

リモコンの電源ボタンまたは操作パネルの電源/エンターボタンでディスプレイの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

電源ランプが点灯（緑色）します。

リモコンの「RGB」ボタンまたはディスプレイの左・右のコントロールボタンで入力信号を選択すると画面が表示されます。

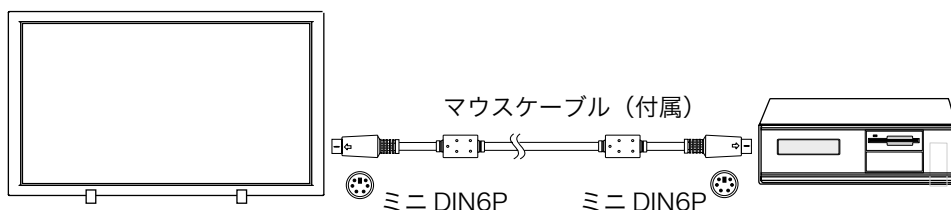
使用後は、電源を切ってください。

リモコンをマウスとして使用する

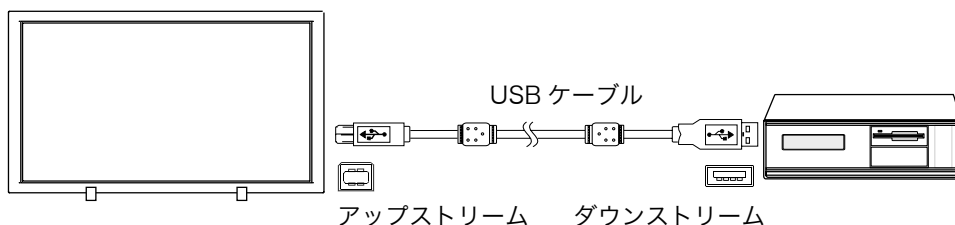
付属のマウスケーブル／市販の USB ケーブルをコンピュータのマウスポートとディスプレイの PS/2 コネクタ／USB アップストリームに接続するとリモコンをマウスとして使用できます。

1. ディスプレイとコンピュータをケーブルでつなぎます。

PS/2 ポート付きコンピュータの場合



USB ポートつきコンピュータの場合



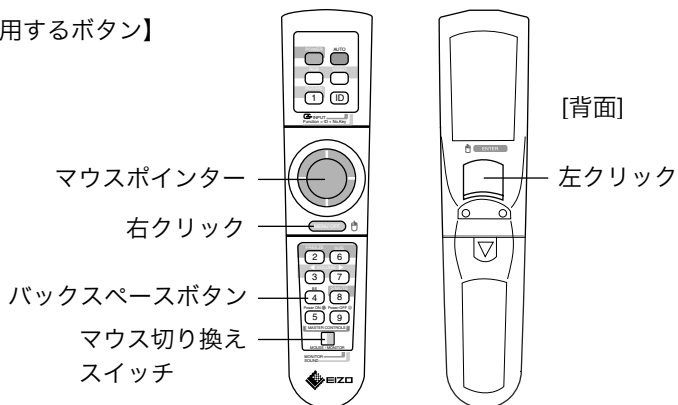
注意点

- リモコンをマウスとして使用できるコンピュータは 1 台のみです。別のコンピュータで使用する場合はマウス/USB ケーブルをつなぎ換える必要があります。
- ディスプレイのコネクタに直接マウスを接続することはできません。

2. リモコンの切り換えスイッチを「MOUSE」にします。

以下のボタンがマウス機能に切り換わります。

【マウスとして使用するボタン】



3-2. AV 機器との接続

AV 機器それぞれの映像出力に合わせて AV1 INPUT または AV2 INPUT に接続します。

(* : 表示可能)

ビデオ入力 コネクタ名	AV1	AV2	
	D 端子	S 映像入力端子	映像入力端子
コンポーネント (Y、Cb、Cr)	*		
コンポーネント (HDTV)	*		
S ビデオ		*	
コンボジット			*
音声入力	AV1	AV2	

注意点

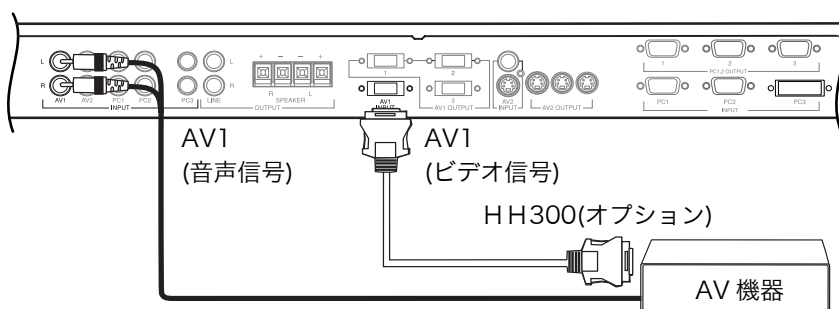
- ディスプレイと各機器の電源が入っていないことを確認してください。
- より良い画質でお楽しみいただくため、S ビデオまたはコンポーネント信号での接続をおすすめします。

1. 各機器を接続します。

接続後、各コネクタを確実に固定してください。コネクタがゆるんでいると画面が乱れたり、色が正常に表示されません。

(1) コンポーネント (p.68) …AV1 INPUT (D 端子) への接続

コンポーネント出力をもつ AV 機器を接続します。

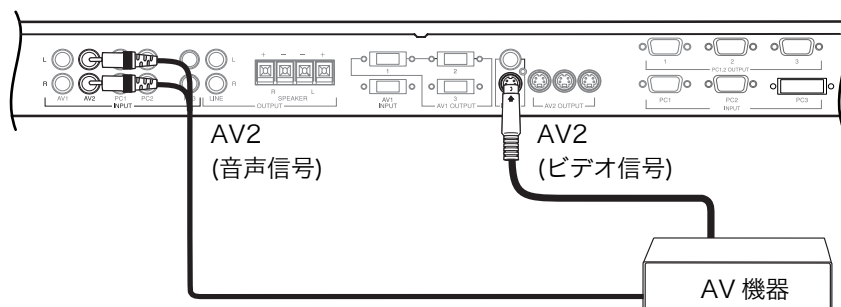


注意点

- 音声入力は、AV1 INPUT に接続してください。

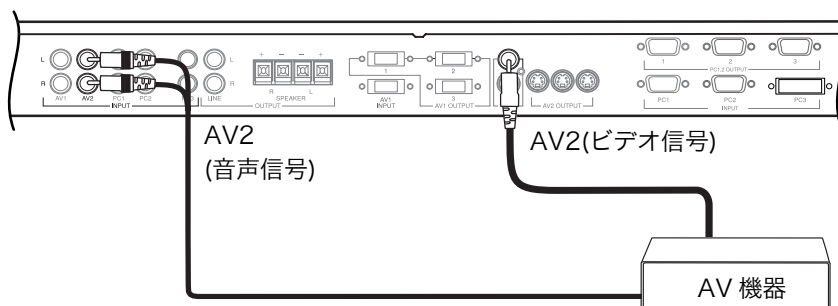
(2) Sビデオ (p.67) …AV2 INPUT (S映像入力端子) への接続

Sビデオ出力をもつAV機器を接続します。



(3) コンポジット (p.68) …AV2 INPUT (映像入力端子) への接続

コンポジット出力をもつAV機器を接続します。



注意点

- 音声入力は、AV2 INPUT に接続してください。

2. 電源コードを電源コネクタと電源コンセントに接続します。



警告

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

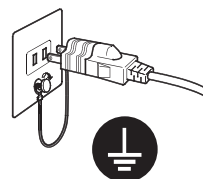
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



3. 電源を入れます。

リモコンの電源ボタンまたは操作パネルの電源/エンターボタンでディスプレイの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

電源ランプが点灯（緑色）します。

リモコンの「VIDEO」ボタンまたはディスプレイの左・右のコントロールボタンで入力信号を選択すると画面が表示されます。

使用後は、電源を切ってください。

3-3. 音声の接続

本機には、音声入力コネクタが5つと出力コネクタが2つ（音声出力端子とスピーカー出力端子）あります。

注意点

- 接続前にディスプレイと各機器の電源が入っていないことを確認してください。

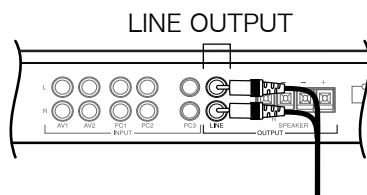
音声入力

付属のステレオミニジャックケーブル(MD-C102)を使って、音声入力を接続します。(18～19または21～22ページ参照)

音声出力

1. 音声出力端子に接続する場合

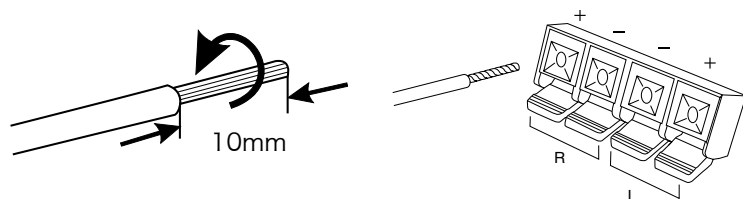
他のオーディオ機器（アンプなど）を接続することによって、外部スピーカーなども利用できます。



2. 外部スピーカーを接続する場合

本機には市販のスピーカーシステム接続用にスピーカー端子を備えています。下図を参照して接続をおこなってください。

- (1) むき出したケーブルをねじります。
- (2) タブを押し下げ、ケーブルを差し込みます。タブを押し上げ、ケーブルが抜けられないようにします。



注意点

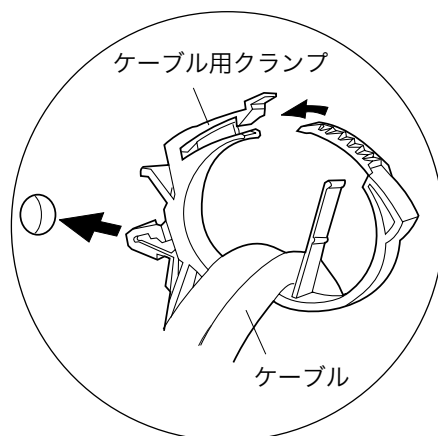
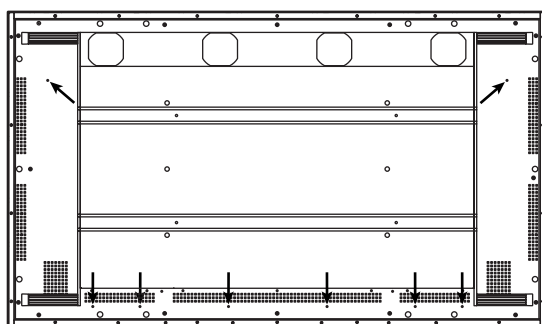
- スピーカーを接続するときは、スピーカー側の端子と本機のスピーカー端子のプラス(+)とマイナス(-)を合わせてください。プラス(+)とマイナス(-)が合っていないと適正な音として聞こえません。

3-4. 接続ケーブルの処理について

本機には接続したケーブルをまとめるためのケーブル用クランプ（大・小 各2個）が付属しています。すべての接続が終わったら、ケーブル類が通行の妨げとなったりしないよう以下の方法でケーブルをまとめてください。

取り付け箇所について

ディスプレイ背面に8ヵ所（下図参照）あります。接続状況に応じて使用してください。

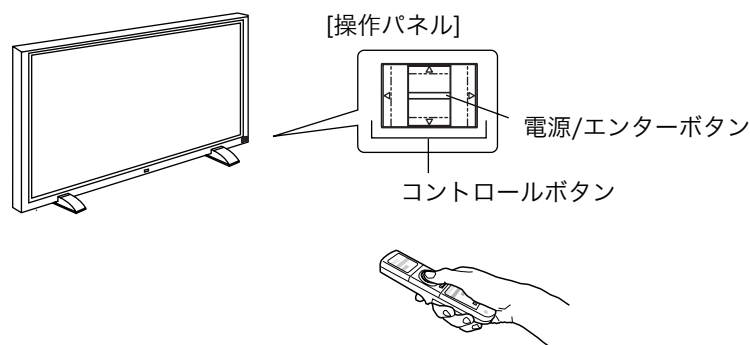


参考

- クランプは取り外しができます。

第 4 章 操作方法

設置、接続が終了したら、リモコンを使って画面調整や各種設定をおこないます。



注意点

- リモコンが使用できない場合はディスプレイの操作パネルを使用してください。

操作パネル	リモコン	機能	参照
コントロールボタン (電源/エンターボタンを押さずに、 直接左・右のボタンを押します。)	RGB ボタン /VIDEO ボタン	入力信号選択	p.28
電源/エンターボタン (軽くボタンを押します。2 秒以上押 すと、電源がオフされてしまいます。)	エンターボタン	ScreenManager 機能	p.29
コントロールボタン	コントロール ボタン		
電源/エンターボタン (2 秒以上ボタンを押します。)	電源ボタン	電源オン/オフ	—

4-1. リモコン操作

よく使う基本的な機能は、リモコンボタンで操作します。リモコンは底面の主電源スイッチが入っている場合に操作できます。

はじめに

リモコンの ID と、ディスプレイの ID が一致しているか確認します。(28ページ参照)
リモコンは ID が一致している場合に操作ができますが、以下のボタンは ID が一致していなくても操作できます。

- ID ボタンおよび 1~9 の数字キー
- Port-Info ボタン
- 強制電源オン/オフボタン

リモコン機能

電源ボタン [POWER]

主電源(ディスプレイ底面)がオンの場合に、電源をオン/オフ(リモコンスタンバイ)します。

入力信号選択

[RGB]→コンピュータ信号
[VIDEO]→AV機器信号
押すたびに表示信号を切り換え表示します。→次ページ

確認ボタン [Port-Info]

*現在の入力信号確認
*ID番号の確認
→次ページ

コントロールボタン/ マウスポインター

ScreenManagerの上下左右の方向を選択します。

一時停止 [FREEZE]

表示を一時停止します。いずれかのボタンを押すと解除します。

バックスペースボタン [BS]

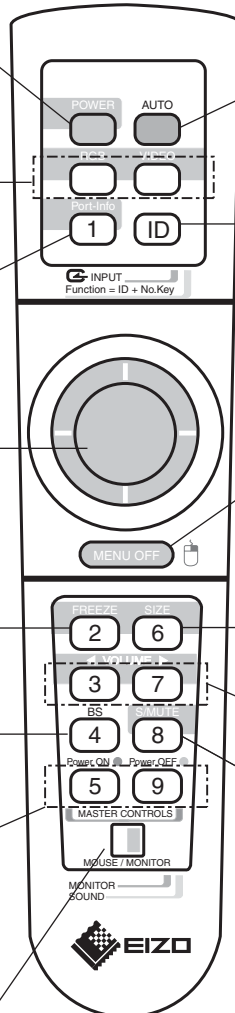
Microsoft PowerPoint使用時に前のスライドへ戻るボタンとして使用します。

電源強制オン [Power ON]

電源強制オフ [Power OFF]
1秒以上押すと、センサーが届く範囲にある複数台のディスプレイの電源を同時にオン/オフします。

マウス切り換え [MOUSE/MONITOR]

リモコンをマウス操作に切り換えます。



画面オート調整 [AUTO]

表示画面の自動調整をします。

ID設定 [ID]

2秒以上押すと赤色に点灯し、リモコンのIDが設定できます。
→次ページ

メニューオフ/ 右クリック [MENU OFF]

ScreenManagerを終了します。

画面サイズ [SIZE]

押すたびに画面のサイズを切り換え表示します。

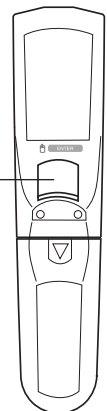
音量 [VOLUME]

音量を調整します。

消音 [MUTE]

音を一時停止します。もう一度ボタンを押すと解除します。

(背面)
エンターボタン/ 左クリック
[ENTER]
ScreenManagerの起動/決定をします。



参考

- グレー部の機能は、リモコンをマウスとして使用する場合に使用するボタンです。
(設定方法については20ページを参照してください。)

IDの確認

P5072 はディスプレイ、リモコンそれぞれに 1~9 までの ID 設定ができます。ディスプレイとリモコンの ID が一致しているときにディスプレイの各設定や調整ができます。

[IDの確認方法]

- (1) リモコンの「Port-Info」ボタンを押します。
- (2) 以下のいずれかのメニューが表示されます。
- (3) ディスプレイの ID とリモコンの ID が異なる場合、リモコン ID を変更します。

[例] ID が一致している場合

ID が一致していない場合



[IDの変更方法]

- (1) リモコンの「ID」ボタンを 2 秒以上押します。
- (2) ID ボタンが赤く点灯します。点灯している間に、1~9 までの数字キーで ID 番号を選択します。

入力信号の切り換え

「RGB」ボタン、「VIDEO」ボタンをそれぞれ押すたびに以下の順番で表示を切り換えます。

RGB ボタン	PC1 (D-Sub)→PC2 (D-Sub)→PC3 (DVI)→PC1 (D-Sub)...
VIDEO ボタン	AV1 (D1-D4)→AV2 (S-Video/Video)→AV1 (D1-D4)...
コントロールボタン (右) (ディスプレイ操作パネル)	PC1 (D-Sub)→PC2 (D-Sub)→PC3 (DVI)→AV1 (D1-D4)→ AV2 (S-Video/Video)→PC1 (D-Sub)...
コントロールボタン (左) (ディスプレイ操作パネル)	PC1 (D-Sub)→AV2 (S-Video/Video) →AV1 (D1-D4)→ PC3 (DVI)→PC2 (D-Sub)→PC1 (D-Sub)...

4-2. ScreenManager 操作

ディスプレイの調整や設定は ScreenManager（オンスクリーン）のメニューを表示してリモコンのエンターボタンとコントロールボタンでおこないます。メインメニューとサブメニューがあります。調整項目は次ページを参照してください。



1. メニューの表示

エンターボタンを押し、メインメニューを表示します。メインメニューの調整項目は入力信号によって異なります。

2. 調整/設定

- (1) コントロールボタンで調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押して、選択した項目のサブメニューを表示します。
- (2) コントロールボタンで調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押して、選択した項目の調整/設定メニューを表示します。
- (3) コントロールボタンで調整/設定し、エンターボタンを押して確定します。

3. 終了

- (1) サブメニューより<リターン>を選択し、エンターボタンを押して、メインメニューに戻ります。
- (2) メインメニューより<メニューオフ>を選択し、エンターボタンを押して、ScreenManager を終了します。

参考

- ScreenManager は表示中に何も操作をしないと、約 45 秒後に自動的に消え終了します。
- <メニューオフ>ボタン
どの調整画面からでも ScreenManager を終了させることができます。

機能一覧

ScreenManager の調整および設定項目一覧表です。サブメニューは入力信号によって異なります。(グレー部分は調整項目がありません。)

機能		コンピュータ		AV 機器	
メインメニュー	サブメニュー	D-Sub (アナログ)	DVI-D (デジタル)	D 端子 (コンポ ネット)	S 映像入力端子 /映像入力端子 (S ビデオ/コンポジット)
ピクチャー調整	クロック	○			
	フェーズ	○			
	ポジション	○			
	解像度	○			
	コントラスト	○	○	○	○
	ブライトネス	○	○	○	○
	スクリーンサイズ	○	○	○※1	○
	マルチパネル	○	○	○	○
	スムージング	○	○	○	○
	階調伸張			○	○
カラー調整	レンジ調整	○			
	カラーモード	○	○	○	○
	ゲイン	○	○		
	色の濃さ/色合い			○	○
	リセット	○	○	○	○
ピクチャー イン ピクチャー	サイズ	○	○		
	入力選択	○	○		
	ポジション	○	○		
	コントラスト	○	○		
	ブライトネス	○	○		
	色の濃さ/色合い	○	○		
	同期選択	○	○		
	オーディオ	○	○		
信号選択			○※2	○	
オーディオ調整	ボリューム/トーン	○	○	○	○
	消音	○	○	○	○
	オーディオモード	○	○	○	○
電源コントロール	PowerManager	○	○	○	○
	タイマー設定	○	○	○	○

※1 D1/D2 信号入力時のみ設定可能です。

※2 D3 信号入力時のみ設定が有効です。

機能		コンピュータ		AV 機器	
メインメニュー	サブメニュー	D-Sub (アナログ)	DVI-D (デジタル)	D 端子 (コンポ ネント)	S 映像入力端子 /映像入力端子 (S ビデオ/コンポジット)
その他	メニューポジション	○	○	○	○
	メニューカラー	○	○	○	○
	ケーブル	○			
	センサーID	○	○	○	○
	スクリーンガード	○	○	○	○
	メニュー回転	○	○	○	○
	電源ランプ	○	○	○	○
	周波数選択	○	○		
	時刻設定	○	○	○	○
	ロゴ	○	○	○	○
	リセット	○	○	○	○
インフォメーション		○	○	○	○
言語選択		○	○	○	○
オートアジャスト		○			

ScreenManager メニュー設定

<言語選択>

必要に応じて ScreenManager メニューの表示言語を変更してください。(英語/ドイツ語/フランス語/スペイン語/イタリア語/スウェーデン語/日本語)

<メニューポジション>と<メニューカラー>

ScreenManager メニューが調整の妨げになる場合に、<その他>メニューの<メニューポジション>と<メニューカラー>を変更してください。

<メニュー回転>

本機を縦置きで使用する場合に、<その他>メニューの<メニュー回転>で Screen Manager メニューの向きを変更（「回転」）してください。

4-3. 画面調整 (コンピュータ アナログ信号)

表示サイズを切り換える

3種類の表示サイズで表示できます。「SIZE (サイズ)」ボタンを押すたびに次のように切り換わります。



フルスクリーン	入力信号を 16 : 9 の画面いっぱいに表示します。
拡大	入力信号のアスペクト比 (p.67) を保ち、画面いっぱいに表示します。
ノーマル	入力信号と表示画面を 1 : 1 に対応させて、忠実に表示します。

対応解像度一覧

(*:表示可能)

解像度	垂直周波数	備考	ノーマル	フルスクリーン	拡大	注
640×400	70Hz	PC98X1	*	*	*	-
640×480	~85Hz	VGA/VESA /Apple Macintosh	*	*	*	-
720×400	70Hz	VGA Text	*	*	*	-
800×600	~85Hz	VESA	*	*	*	-
832×624	75Hz	Apple Macintosh	*	*	*	-
848×480**	60Hz	---	*	*	*	-
852×480**	60Hz	---	*	*	*	-
856×480**	60Hz	---	*	*	*	-
864×480**	60Hz	---	*	*	*	-
1024×768	~85Hz	VESA	*	*	*	(1)
1280×768**	~60Hz	---	*	*	*	(2)
1152×864	~75Hz	VESA	*	*	*	(3)
1152×870	75Hz	Apple Macintosh	*	*	*	(3)
1152×900	~76Hz	SUN WS	*	*	*	(3)
1280×960	~85Hz	VESA /Apple Macintosh	*	*	*	(3)
1280×1024	~85Hz	VESA	*	*	*	(3)
1600×1200	~75Hz	VESA	*	*	*	(3)

**これらの解像度の詳細は、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

(1)1024×768 の「ノーマル」と「拡大」とは同一サイズとなります。

(2)1280×768 は「ノーマル」、「拡大」、「フルスクリーン」すべて同一サイズとなります。

(3)水平解像度が 1280 を越える信号、または垂直解像度が 768 を越える場合、「ノーマル」では、画面が欠けます。また「フルスクリーン」、「拡大」は圧縮表示になります。

調整手順

プラズマディスプレイの画像の調整とは、使用するシステムに合わせ、画像のちらつきを抑えたり画面位置や画面サイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、ディスプレイを初めてセットアップしたときや使用しているシステムの設定を変更した場合には、ScreenManager を使用して画像を調整していただくことをおすすめします。付属のユーティリティディスクに画像調整用プログラムが含まれていますのでご利用ください。

注意点

- 調整はディスプレイの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約30分かかります。）

1. 使用ケーブルの長さによる画像の劣化を調整します。

接続するケーブルの長さによって画像の劣化（画像の右側に影が見える、縦線が明るく見える）が生じる場合があります。

<その他>メニューより<ケーブル>を選択し、劣化を補正します。

選択メニューの長さは目安ですので、表示画面の状態を見ながら最適な設定を選んでください。



注意点

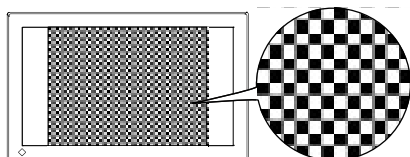
- 本機能は 1280×768 以下の解像度での使用をおすすめします。

2. 画面調整用プログラムをインストールします。

「EIZO PDP ユーティリティディスク」（付属品）の「画像調整プログラム」をディスク内の readmeja.txt ファイルにしたがって、インストールし起動します。

参考

- ご使用のシステム対応したプログラムがない場合は、画面に1ドット抜きのパターン（下記参照）などを表示して以下の手順に進んでください。



3. リモコンの AUTO (オート) ボタンを押します。

「もう一度オートボタンを押すとオートアジャストが実行されます」のメッセージが 45 秒間表示されます。メッセージが表示されている間にもう一度オートボタンを押すと、オートアジャスト機能が働き（動作中であることを示す画面が表示されます。）、クロック、フェーズ、表示位置、解像度、コントラスト、ブライトネスが自動調整されます。

4. 信号出力レベルの調整

→  レンジ調整をします。

信号の出力レベルを調整し、全ての色階調 (0~255) を表示できるように調整します。

<カラー調整>メニューより<レンジ調整>を選択し、「OK」を選択します。レンジ調整機能が働き（動作中であることを示す画面が表示されます。）、信号出力レベルが自動調整されます。

参考


- 本機能は画面にグレースケールパターンなどを表示しておこなうことをおすすめします。



オートボタンおよびレンジ調整で調整しきれない場合は、以降の手順にしたがって調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順 6 にお進みください。

5. ScreenManager の<ピクチャー調整>により調整します。


(1) 余分な画像が表示されていたり、画面が切れている場合

→  解像度を確認します。

入力信号の解像度と、解像度調整画面に表示されている解像度が異なる場合に調整します。

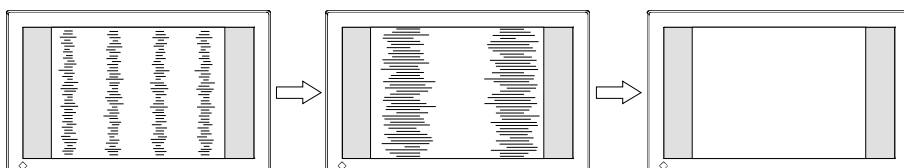
<解像度>を選択し、調整画面に表示されている解像度と、入力信号の解像度が同じになるように上・下のコントロールボタンで垂直方向の、左・右のコントロールボタンで水平方向の解像度を調整します。エンターボタンで確定すると、しばらく画面が暗くなった後表示されます。

(2) 画面上に縦縞が出ている場合

→  クロック (p.68) を調整します。

<クロック>を選択し、左・右のコントロールボタンを使用して縦縞が消えるように調整します。調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンはゆっくり押し調整するようにしてください。


調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「(3)フェーズ調整」に進み調整をおこなってください。



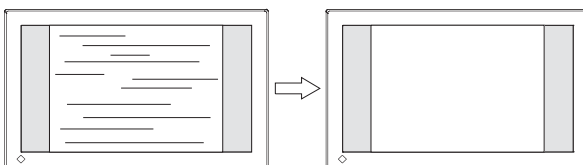
注意点

- クロックを調整すると、水平の画面サイズも変化します。

(3) 画面全体がちらついたり、にじむように見える場合

→  フェーズ (p.68) を調整します。


<フェーズ>を選択し、左・右のコントロールボタンを使用して最もちらつきやにじみのない画面に調整します。



注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

(4) 画面の表示位置がずれている場合


→  ポジションを調整します。

プラズマディスプレイは画素数および画素位置が固定であるため、正しい表示位置は1カ所です。ポジション調整とは画面を正しい位置に移動させるための調整です。

<ポジション>を選択し、画像のまわりの点線枠が全て表示するように上・下・左・右のコントロールボタンで調整します。

調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「(2)クロック調整」に戻り、再度調整をおこなってください。(クロック→フェーズ→ポジション)

6. 明るさの設定

→  ブライトネスを調整します。

画面全体の明るさをお好みの状態に調整します。

<コントラスト/ブライトネス>を選択し、コントロールボタンで調整します。

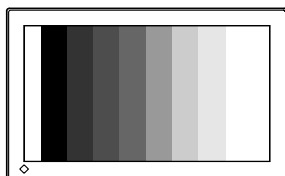
7. コントラストの設定

→  コントラストを調整します。

<コントラスト/ブライトネス>を選択し、コントロールボタンで調整します。

参考

- より正確に階調をとりたい場合は画面にグレースケールパターンなどを表示し調整してください。



参考

- 直接コントロールボタンを押しても、コントラスト・ブライトネスの調整ができます。


8. 文字や線がぼやけて見える場合

→  スムージング調整をします。

「フルスクリーン」、「拡大」表示をしている場合に文字や線がぼやけて見える場合があります。

<スムージング>を選択し、上・下のコントロールボタンで1~5段階(シャープ~ソフト)からお好みに応じて選択します。

9. 画面がちらついて見える場合

→  周波数選択を選択します。

PDPパネルは、コンピュータから入力された信号のリフレッシュレート(垂直周波数)をすべて「60Hz」に変換して画面を表示します(初期設定)。この設定を高くすることにより、画面のちらつきが抑えられます。

<その他>メニューより<周波数選択>を選択し、「70Hz」に設定します。

4-4. 画面調整（コンピュータ デジタル信号）

表示サイズを切り換える

3種類の表示サイズで表示できます。「SIZE（サイズ）」ボタンを押すたびに次のように切り換わります。



フルスクリーン	入力信号を 16：9 の画面いっぱいに表示します。
拡大	入力信号のアスペクト比を保ち、画面いっぱいに表示します。
ノーマル	入力信号と表示画面を 1：1 に対応させて、忠実に表示します。

対応解像度一覧

(*：表示可能)

解像度	垂直周波数	備考	ノーマル	フルスクリーン	拡大	注
640×480	60Hz	VGA	*	*	*	-
720×400	70Hz	VGA Text	*	*	*	-
800×600	60Hz	VESA	*	*	*	-
848×480	60Hz	VESA	*	*	*	-
1024×768	60Hz	VESA	*	*	*	(1)
1280×768	60Hz	VESA	*	*	*	(2)
1280×1024	60Hz	VESA	*	*	*	(3)

(1)1024×768 の「ノーマル」と「拡大」とは同一サイズとなります。

(2)1280×768 は「ノーマル」、「拡大」、「フルスクリーン」すべて同一サイズとなります。

(3)垂直解像度が 768 を超える場合、「ノーマル」では、画面が欠けます。また「フルスクリーン」、「拡大」は圧縮表示になります。


調整手順

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。表示された画像の状態（明るさやコントラストなど）を ScreenManager の<ピクチャー調整>を使用して調整してください。

注意点

- 調整はディスプレイの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約 30 分かかります。）


1. 明るさの設定

→  ブライツネスを調整します。

画面全体の明るさをお好みの状態に調整します。

<コントラスト/ブライツネス>を選択し、コントロールボタンで調整します。

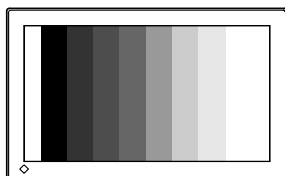
2. コントラストの設定

→  コントラストを調整します。

<コントラスト/ブライツネス>を選択し、コントロールボタンで調整します。

参考

- より正確に階調をとりたい場合は画面にグレースケールパターンなどを表示し調整してください。



参考

- 直接コントロールボタンを押しても、コントラスト・ブライツネスの調整ができます。


3. 文字や線がぼやけて見える場合

→  スムージング調整をします。

「フルスクリーン」、「拡大」表示をしている場合に文字や線がぼやけて見える場合があります。

<スムージング>を選択し、上・下のコントロールボタンで1~5段階(シャープ~ソフト)からお好みに応じて選択します。

4. 画面がちらついて見える場合

→  周波数選択を選択します。

PDPパネルは、コンピュータから入力された信号のリフレッシュレート(垂直周波数)をすべて「60Hz」に変換して画面を表示します(初期設定)。この設定を高くすることにより、画面のちらつきが抑えられます。

<その他>メニューより<周波数選択>を選択し、「70Hz」に設定します。

4-5. 画面調整 (AV 機器)

表示サイズを切り換える

5 種類の表示サイズで表示できます。「SIZE (サイズ)」ボタンを押すたびに次のように切り換わります。ただし、D3/D4 信号ではフルスクリーン表示のみです。



フルスクリーン		画面いっぱいにフルスクリーン表示します。
4:3 ノーマル		4:3 のアスペクト比で表示します。
ナチュラルワイド		アスペクト比 4:3 の信号を入力した場合、画面中央部の比率は保持したまま、フルスクリーン表示します。(パノラマモード)
シネマ		字幕スーパー付きの映像を見る場合のサブタイトル (字幕部分) をカットして映像部分をフルスクリーン表示します。
サブタイトル		字幕スーパー付きの映像をサブタイトル (字幕部分) を含んだ状態でフルスクリーン表示します。

ビデオ信号対応一覧

(*:表示可能)


垂直周波数 fV(Hz)	水平周波数 fH(kHz)	AV1	AV2		備考
		コンポーネント	Sビデオ	コンポジット	
50	15.625		*	*	PAL/SECAM
50	15.625	*			—
59.94 (60)	15.734		*	*	NTSC/ NTSC4.43 /PAL-M
59.94 (60)	15.734	*			480i(D1)
59.94 (60)	31.469	*			480p(D2)
59.94 (60)	33.716	*			1080i(D3)
59.94 (60)	33.716	*			1035i(HDTV)
59.94 (60)	44.955	*			720p(D4)

調整手順

注意点

- 調整はディスプレイの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。
(内部の電気部品の動作が安定するのに約30分かかります。)

1. 信号形式の選択

→  信号選択メニューを選択します。


Sビデオまたはコンポジット信号を入力する場合には、信号形式を選択してください。通常は、入力信号に応じて自動判別しますが、信号が不安定な場合（画面が乱れる場合）入力信号の形式に合わせて切り換えてください。

<信号選択>メニューを選択し、信号形式を選択します。

D端子からHDTV信号(1035i)を入力する場合には、正しく画面を表示するための設定をおこなってください。(この設定をおこなわないと、HDTV信号がD3信号と認識されてしまい適正な位置に画面が表示されません。)

<信号選択>メニューを選択し、「する」に設定します。


2. 明るさの設定

→  ブライツネスを調整します。

画面全体の明るさをお好みの状態に調整します。

<コントラスト/ブライツネス>を選択し、コントロールボタンで調整します。

3. コントラストの設定


→  コントラストを調整します。

<コントラスト/ブライツネス>を選択し、コントロールボタンで調整します。

参考


- 直接コントロールボタンを押してもコントラスト・ブライツネスの調整ができます。

4. 文字や線がぼやけて見える場合

→  スムージング調整をします。

<スムージング>を選択し、上・下のコントロールボタンで1～5段階（シャープ～ソフト）からお好みに応じて選択します。

5. くっきりした画面にする場合

→  階調伸張を設定します。

白黒がはっきりしない画面を表示している場合に、その調整状態（最小・中間・最大）を設定することにより、くっきりとした画面にします。

<階調伸張>を選択し、調整状態を設定します。


4-6. カラー調整

ScreenManager の<カラー調整>メニューを使って、好みの明るさや色に調整できます。ビデオ入力コネクタごとに設定できます。

注意点

- 調整はディスプレイの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。(内部の電気部品の動作が安定するのに約30分かかります。)
- ディスプレイにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。
- <カラー調整>メニューの<リセット>を選択すると表示されている信号の明るさと色設定は初期設定に戻ります。

1. 背景の白色の色合いを変える。


→  カラーモードを選択します。

白い背景のアプリケーションを使用している場合などに、背景の白色の色合いを変えることができます。

<カラーモード>を選択し、モード(1・2・3)を選択します。

カラーモード1	プラズマパネル本来の色(調整していません)。すべての色階調を表示できます。
カラーモード2	9300K。すべての階調を表示できません。
カラーモード3	6500K。すべての階調を表示できません。

2. 赤・青・緑のそれぞれの色調を調整する。(コンピュータ信号の場合のみ)


→  ゲイン (p.68) にて色調を調整します。

赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、色調を自分でつくります。

【調整方法】


- (1) 背景が白またはグレーの画面を表示します。
- (2) <カラー調整>メニューより<ゲイン>を選択し、コントロールボタンで各色の値を調整します。
- (3) 最後にコントラストを再調整し、ブライトネスで明るさを調整してください。

3. 色を鮮やかにする場合（AV 機器信号の場合のみ）

→  色の濃さ/色合いで調整します。

色の濃さ	色を鮮やかにします。0～100 の間で調整します。
色合い	肌色などを好みの色合いにする場合、0～100 の間で調整します。

4. 色設定を初期設定に戻したい場合


→  リセットを選択します。

リセットを選択すると、表示されている信号の明るさと色調整が初期設定に戻ります。

4-7. 音声の調整

ScreenManager の<オーディオ調整>メニューを使って、好みの音質に設定できます。音声入力端子ごとに設定できます。


1. 音量、音質を調整する。

→  ボリューム/トーンで調整します。

音量、音質は信号ごとに登録できます。

ボリューム	音の大きさを調整します。0で音が消えます。
低音	低音の調整をします。
高音	高音の調整をします。
バランス	左右のバランスを調整します。


2. 音を一時的に消す。

→  消音を選択します。

参考

- ボリュームの調整と消音機能はリモコンボタンで操作できます。

3. スピーカー出力特性を選択する。

→  オーディオモードを選択します。

スピーカーの出力音はステレオ、ミュージック、ムービー、モノラルのいずれかのモードに切り換えられます。

ステレオ	オリジナル
ミュージック	ステレオ音声のボーカルを強調します。(音楽用途)
ムービー	ステレオ音声の臨場感が増します。(映画用途)
モノラル	左右の音声を合成したモノラル出力。

第 5 章 便利な機能

ScreenManager の<電源コントロール>/<その他>メニューや操作ボタンを使って、各種機能が活用できます。

5-1. 節電機能

アナログ信号入力の場合

本機は「VESA DPMS (p.67)」に準拠し、さらにスクリーンセーバー（模様なし）など、ブランク（黒）の画面に連動する「EIZO MPMS (p.67)」を採用しています。

1. コンピュータの節電機能「VESA DPMS」を使用する場合：

[設定方法]

- (1) コンピュータの節電機能を設定します。
- (2) ScreenManager<電源コントロール>メニューより<PowerManager>を選択します。
- (3) 「VESA DPMS」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの設定に連動し 5 秒後に節電モードに移行します。

コンピュータの状態		ディスプレイの状態	電源ランプ
	オン	オペレーションモード	緑
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	オレンジ

[復帰方法]

キーボードまたはマウスを操作します。

2. スクリーンセーバー（黒画面）に連動させる場合：

[設定方法]

- (1) コンピュータのスクリーンセーバーの「模様なし」や画面がブランク（黒）になるパターンを設定します。
- (2) ScreenManager<電源コントロール>メニューより<PowerManager>を選択します。
- (3) 「EIZO MPMS」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの設定に連動し 5 秒後に節電モードに移行します。

コンピュータの状態	ディスプレイの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	緑
・スクリーンセーバーが働く ・省エネルギー設定が働く	節電モード	オレンジ

[復帰方法]

キーボードまたはマウスを操作します。

注意点

- Macintosh の「省エネルギー設定」をご使用の場合は「EIZO MPMS」を設定してください。

デジタル信号入力の場合

本機は「DVI DMPM (p.67)」に準拠しています。

[設定方法]

- (1) コンピュータの節電機能を設定します。
- (2) ScreenManager<電源コントロール>メニューより<PowerManager>を選択します。
- (3) 「DVI DMPM」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの設定に連動し 5 秒後に節電モードに移行します。

コンピュータの状態	ディスプレイの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	緑
節電モード/オフモード	節電モード	オレンジ

[復帰方法]

コンピュータ-節電モードからの復帰：キーボードまたはマウスを操作します。
コンピュータ-オフモードからの復帰：コンピュータの電源を入れます。

AV 機器信号入力の場合

[設定方法]

- (1) ScreenManager<電源コントロール>メニューより<PowerManager>を選択します。
- (2) 「オン」を選択します。

[節電の流れ]

ビデオ信号が入力されなくなって5分経過すると電源がオフされ、リモコンスタンバイ状態に移行します。(45秒間「オートパワーオフ」メッセージが表示されます。) 電源ランプは黄(ゆっくり点滅)に変わります。

[復帰方法]

リモコンの電源ボタンまたはディスプレイの電源/エンターボタンで電源を入れます。

注意点

- ディスプレイが節電モードに入っていて、表示切り換えをおこないたい場合は、リモコンの RGB ボタンを押していったんディスプレイを立ち上げてから切り換えてください。ディスプレイの左・右のコントロールボタンの場合は、そのまま切り換えられます。
- リモコンスタンバイの状態では、消費電力が0.3W以下になります。
- 完全な節電のためにはディスプレイの主電源を切ることをおすすめします。また、電源プラグを抜くことで、確実にディスプレイへの電源供給は停止します。

5-2. 各種機能

タイマー設定機能

ディスプレイの使用時間または電源をオン/オフする時間をあらかじめ設定することにより、ディスプレイの電源を制御します。

注意点

- 「オフタイマー」と「スケジュール」を併用して使用することはできません。

オフタイマー

ディスプレイの使用時間を設定することにより、設定した時間が終了すると自動的にディスプレイの電源がオフされます。

ディスプレイの電源切り忘れによる消費電力を軽減させる機能です。

[設定方法]

- (1) ScreenManager<電源コントロール>メニューより<タイマー設定>を選択します。
- (2) 「オフタイマー」を選択します。
- (3) ディスプレイの使用時間（1H～23H）を設定します。

[オフタイマーの流れ]

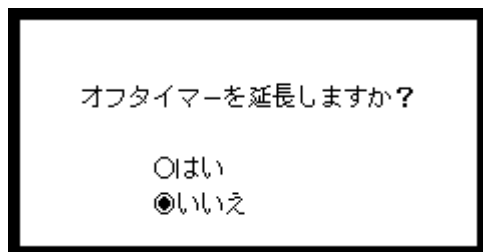
タイマー	ディスプレイの状態	電源ランプ
設定時間（1H～23H）	オン	緑
設定時間終了 15 分前	予告期間	緑点滅
設定時間終了	電源オフ	オレンジ（ゆっくり点滅）

[復帰方法]

リモコンの電源ボタンまたはディスプレイの電源/エンターボタンで電源を入れます。

注意点

- 設定時間の終了 15 分前は終了予告期間です。期間中にリモコンや操作パネルのいずれかのボタンを押すと、以下の確認メッセージが表示されます。
「はい」を選択すると、終了時間を 90 分間延長することができます。



電源スケジュール

P5072 の電源をオン/オフする時間を設定することにより、設定された時間に電源が自動的にオン/オフされます。

注意点

- 設定の前に、必ずディスプレイに内蔵されているカレンダーの日付時刻が合っているか確認してください。(ScreenManager<その他>メニューの<時刻設定>を確認してください。)

[設定方法]

- (1) ScreenManager<電源コントロール>メニューより<タイマー設定>を選択します。
- (2) 「スケジュール」を選択します。
- (3) 「週間スケジュール」を選択します。
- (4) スケジュール設定を有効にする曜日を「オン」に設定します。
- (5) 各曜日のスケジュールを設定します。

設定する曜日を選択し、エンターボタンを押します。

ディスプレイの電源をオン/オフする時間と、電源が入ったときに表示する信号が接続されているポートを設定します。設定は5つまで可能です。

(ポートを「-」に設定すると、前回電源がオフされた時点で表示していた信号で電源がオンされます。)

[オフ期間の設定]

週間スケジュールの設定を一定期間機能させないようにすることができます。

(オフ期間中の電源は、リモコンで操作することになります。また、オフ期間に入ったときにディスプレイの電源が入っている場合は自動的に電源が切れます。)


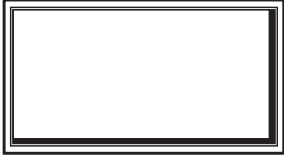
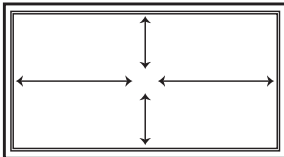
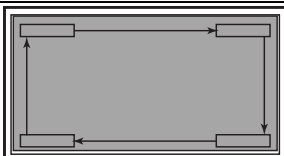
「スケジュール」より「オフ期間」を選択し、週間スケジュールの設定を機能させない期間を設定します。

注意点

- 「リセット」を選択すると、スケジュールに関する設定は初期設定に戻ります。

スクリーンガード

PDP パネルは、部分的に明るいウィンドウなどが長時間表示されている場合に、その部分が焼き付きを起こすことがあります。スクリーンガードは、表示位置や大きさ、明るさを変えることで、パネル焼き付きを軽減します。4 つの機能がありますので、表示用途に応じて設定してください。

ピークリミット		画面の明るさを制限します。あらゆる画面に適しますが、設定によってはコントラストの淡い画面となります。
ポジション		設定した時間ごとに、画面の表示位置を上下左右に移動させます。暗い画面に線画や画枠、テキストなどを常時表示させている場合に使用します。設定ドット数を増やすと、効果は大きくなりますが、周辺部分の画面欠けがやや多くなります。
ストレッチ		設定した時間ごとに、画面の大きさを変えずに画面の一部を伸び縮みさせます。暗い画面に線画や画枠、テキストなどを常時表示させている場合に使用します。画面の移動はありませんが、画面上に多少のゆがみが生じます。
スクリーンセーバー		あらかじめ設定した時間が経過後、画面の明るさを落とします。実行中はスクリーンセーバーの文字が画面に表示されます。あらゆる画面に適しますが、常時画面を表示していることが目的（掲示板など）の場合には適しません。

[設定方法]

- (1) ScreenManager<その他>メニューより<スクリーンガード>を選択します。
- (2) 表示用途に応じて動作させる機能を選択し、それぞれ設定します。

ピークリミット	オート	周囲の明るさに応じて、制限する明るさの状態を自動的に切り換える場合に選択します。
	ノーマル	本機を明るい場所に設置する場合に選択します。
	ナイトモード	本機を暗い場所に設置する場合に選択します。
	オフ	画面全体に動画（ビデオやDVDなど）を表示する場合に選択します。 (焼き付きを起こしやすいので、静止画像を表示する場合には選択しないでください。)

ポジション	画面が移動する間隔（時間）と移動するドット数を設定します。
ストレッチ	画面が伸び縮みする間隔（時間）を設定します。
スクリーンセーバー	操作パネルやリモコンによる入力を停止してから画面の明るさを落とすまでの時間を設定します。

参考

- スクリーンセーバーから復帰するためには、次の方法があります。
 - ー リモコンがリモコンモードのとき、電源ボタン(POWER)、電源強制オン(POWER ON)、電源強制オフ(POWER OFF)以外のボタンを押します。
 - ー リモコンがマウスモードのとき、一時停止(FREEZE)、画面サイズ(SIZE)、音量(VOLUME)、消音(MUTE)のいずれかのボタンを押します。
- スクリーンガードの設定は、ビデオ入力コネクタごとに設定できます。

ピクチャーインピクチャー

コンピュータ信号を親画面として、AV 機器の信号を子画面表示することで、2つの画面を同時に表示します。



注意点

- 子画面には、D1～D4、Sビデオ、コンポジット信号が表示できます。
- 子画面に信号が入力されていない場合は、ピクチャーインピクチャーの設定をおこなってもコンピュータ信号の画面のみが表示されます。

[設定方法]

- (1) ScreenManater が起動していない状態で、直接リモコンのコントロールボタンの上を押し、<ピクチャーインピクチャー>メニューを表示します。（または、ScreenManager<ピクチャーインピクチャー>メニューを選択します。）
- (2) <サイズ>を選択します。
 - 1、2、3、4の順番に表示サイズが大きくなります。いずれかを選択します。
- (3) <入力選択>を選択します。
 - AV 機器を接続しているコネクタを選択します。

[調整方法]

調整アイコンを選択して、子画面の調整をします。

ポジション	表示位置を調整します。
コントラスト/ブライトネス	コントラスト/ブライトネスを調整します。
色の濃さ/色合い	色の濃さ、色合いを調整します。
同期選択	子画面を表示しているときの画面のリフレッシュレートを設定します。表示された画面の状態に応じて設定してください。 <ul style="list-style-type: none">● PC 同期：画面全体がちらついて見える場合に選択● AV 同期：子画面部分にまれにノイズが見られる場合に選択
オーディオ	出力音声について親画面と子画面を切り換えます。

注意点

- コントラスト、ブライトネス、色の濃さ/色合いの設定は表示している AV 機器の<ピクチャー調整>および<カラー調整>での調整と連動しています。

時刻設定/表示

ディスプレイに内蔵されているカレンダーの日付時刻を設定/画面上にデジタル時計を表示します。焼き付き防止のため、1 分ごとに時計の表示位置が変わります（左上→右上→右下→左下）。

[設定方法]

- (1) ScreenManager<その他>メニューより<時刻設定>を選択します。
- (2) 日付時刻を設定する場合：<設定>を選択し、日付時刻を設定します。
デジタル時計を表示する場合：<表示>を選択し、「オン」に設定します。

EIZO ロゴ非表示機能

本機の電源を入れると、EIZO ロゴが画面中央に表示されます。このロゴの表示/非表示を切り換えます。（初期設定ではロゴは表示されません。）

[設定方法]

- (1) ScreenManager<その他>メニューより<ロゴ>を選択します。
- (2) 表示させる場合：「有効」に設定します。
表示させない場合：「無効」に設定します。

初期設定に戻す

初期設定は65ページを参照してください。

[設定方法]

ScreenManager<その他>メニューより<リセット>を選択します。

5-3. 複数台使う

P5072 を複数台設置した場合の活用機能を紹介します。

マルチパネル表示

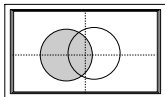
横方向、縦方向それぞれ4台までの枠内で、最大9台までを並べて設置し、大画面表示ができます。設置の組み合わせは、2台 (1×2、2×1)、3台 (1×3、3×1)、4台 (1×4、2×2、4×1)、6台 (2×3、3×2)、8台 (2×4、4×2)、または9台 (3×3) です。

注意点

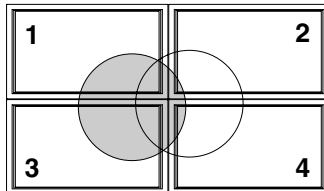
- ディスプレイを縦置きした状態でのマルチパネル表示はできません。

[表示例]

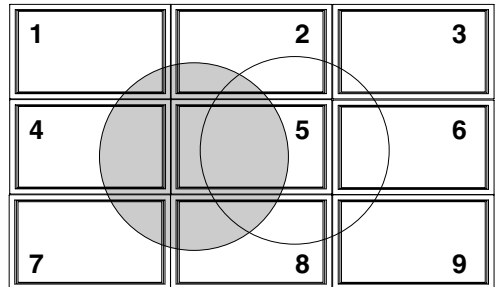
1 画面表示



4 画面表示 (2×2)

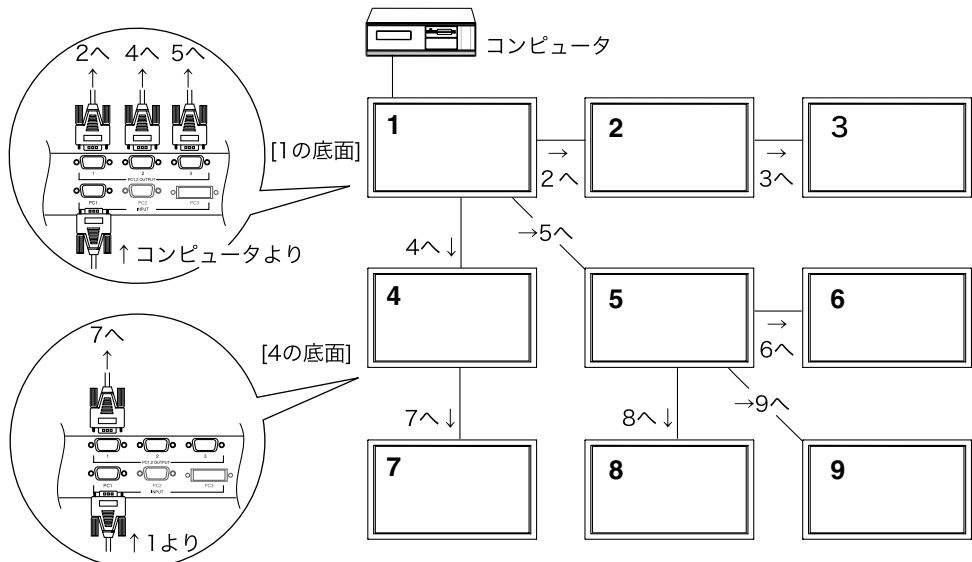


9 画面表示 (3×3)



[接続方法]

例：コンピュータ（アナログ）信号を9台のディスプレイで表示する場合



[設定方法]

- (1) ScreenManager<ピクチャー調整>メニューより<マルチパネル>を選択します。
- (2) 表示したい台数（横×縦）を設定します。
- (3) 右のコントロールボタンを押し、画面右側の表示位置設定に移動します。
- (4) 現在操作しているディスプレイが設置されている位置の数字を選択します。
- (5) パネルモード選択画面が表示されます。（「1×1」の場合を除く。）
表示画像に応じてパネルモードを選択します。

テキスト	文字情報などを表示する場合 (すべての情報を表示します。)
ピクチャー	動画や写真などを表示する場合 (ディスプレイの枠に当たる部分の画像を表示しません。)

上記設定は、設置したすべてのディスプレイでおこなってください。

(4の表示位置は、それぞれのディスプレイの設置位置に合わせて選択してください。)

【注意】

- マルチパネル表示の場合、表示モードは自動的にフルスクリーン表示になります。
- ディスプレイの接続は、1台のディスプレイに対して2段まで対応できます。
- よりきれいな表示をするには、オプションの分配器のご使用をおすすめします。

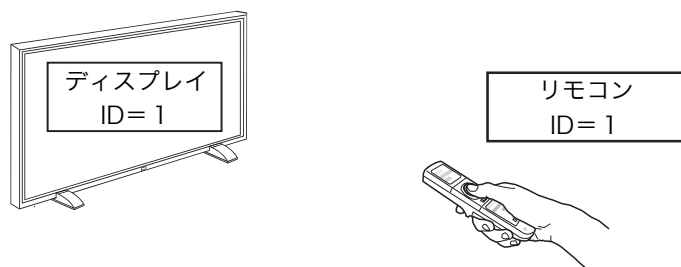
リモコン ID を活用した調整設定

複数台のディスプレイを設置した場合に1台のリモコンを使って調整できます。

調整が必要でないディスプレイに影響がないように、調整したいディスプレイとリモコンのIDを同じ数字に設定します。

【例】

- (1) 調整したいディスプレイのIDを[1]に設定します。
- (2) その他のディスプレイのIDは[2]に設定します。
- (3) リモコンのIDを[1]に設定します。
- (4) 複数あるディスプレイのうち、[1]に設定したディスプレイの操作のみおこなえます。



注意点

- ディスプレイの ID をリモコン ID と違う数字に変更した時点で、リモコン操作はできません。
- ID が一致していなくても操作可能なリモコンボタンは以下のとおりです。
 - － ID ボタンおよび 1～9 の数字キー
 - － Port-Info (リモコン ID 確認) ボタン
 - － Power ON (強制電源オン) ボタン
 - － Power OFF (強制電源オフ) ボタン

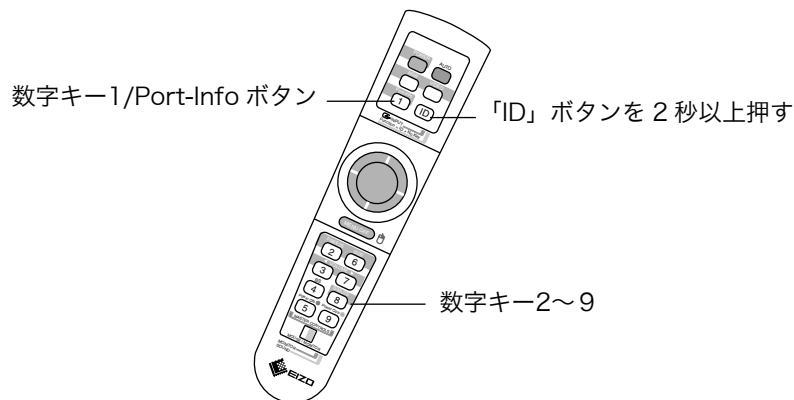
[ディスプレイ ID 設定方法]

- (1) ScreenManager<その他>メニューより<センサーID>を選択します。
- (2) 左・右のコントロールボタンを押し 1～9 までの ID 番号を選択します。

[リモコン ID 設定方法]

- (1) リモコンの「ID」ボタンを 2 秒以上押します。
- (2) ID ボタンが赤く点灯します。点灯している間に、1～9 までの数字キーで ID 番号を選択します。

設定が終了したら、リモコンの Port-Info ボタンを押して確認メニューを表示させ、ID 番号が一致していることを確認してください。



電源ランプ設定

画面を表示しているときの電源ランプの表示を消灯できます。
マルチパネル表示時など、電源ランプを消灯させておきたい場合に活用ください。

[設定方法]

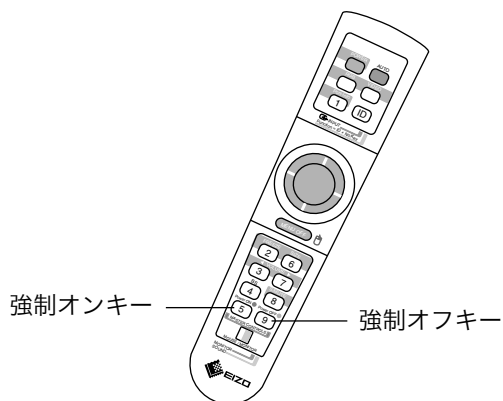
- (1) ScreenManager<その他>メニューより<電源ランプ>を選択します。
- (2) 「無効」に設定します。

電源強制オン、オフ

リモコンの ID が一致していなくても、リモコンのセンサーが届く範囲にあるディスプレイの電源を一括して強制オン、オフします。

[操作方法]

- (1) ディスプレイにリモコンを向けて Power ON (強制オン) ボタンまたは Power OFF (強制オフ) ボタンを 1 秒以上押します。
- (2) センサーが届いたディスプレイの電源がオンまたはオフします。



5-4. その他の機能

調整ロック機能

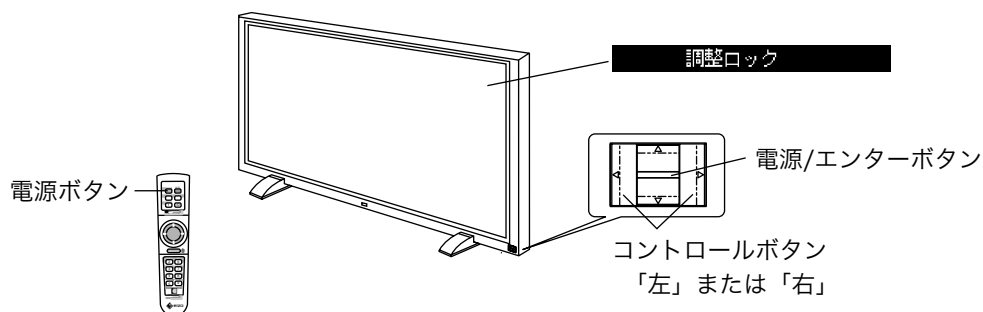
一度調整/設定した状態をむやみに変更したくないときにご利用ください。

調整ロック される機能	操作パネル	● 電源/エンターボタンによる ScreenManager の起動
	リモコン	● エンターボタン
調整ロック されない機能	操作パネル	● 電源/エンターボタンによる電源オン/オフ ● コントロールボタン（上・下）によるボリューム調整 ● コントロールボタン（左・右）による入力信号選択
	リモコン	● 上記以外の操作

[設定方法]

いったん、リモコンの電源ボタンまたはディスプレイの電源/エンターボタンで電源を切ります。

ディスプレイのコントロールボタン「左」または「右」を押しながら、リモコンの電源ボタンまたはディスプレイの電源/エンターボタンで電源を入れると調整ロックがかかります。



[解除方法]

いったん、リモコンの電源ボタンまたはディスプレイの電源/エンターボタンで電源を切ります。

ディスプレイのコントロールボタン「左」または「右」を押しながら、リモコンの電源ボタンまたはディスプレイの電源/エンターボタンで電源を入れると調整ロックが解除されます。

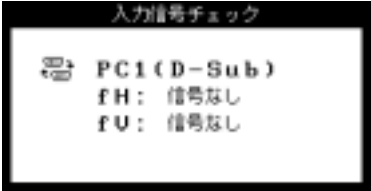

第6章 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

◆ 画面が表示されない場合


症状	チェックポイント/対処方法
1. 電源が入らない ● 電源ランプが点灯しない	<input type="checkbox"/> 電源プラグがはずれていませんか。 <input type="checkbox"/> 主電源スイッチは入っていますか。
2. 画面が表示されない ● ファンが停止し電源が落ちる ：オレンジ色点滅	<input type="checkbox"/> ディスプレイ動作中はファンが回ります。故障によりファンが停止すると画面が表示されなくなり、[ファンエラー]のメッセージ15秒間後に電源が落ちます。電源を切り、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。
● 電源ランプが点灯しない	<input type="checkbox"/> 電源コードが正しく差し込まれていますか。 <input type="checkbox"/> 主電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
● 電源ランプが点灯する ：緑色	<input type="checkbox"/> コントラスト、ブライトネスの設定を確認してみてください。 <input type="checkbox"/> 信号が入力されているポートをリモコンのRGBボタン/VIDEOボタン、またはディスプレイの左・右のコントロールボタンで選択してみてください。(→p.28参照)
● 電源ランプが点灯する ：オレンジ色	<input type="checkbox"/> コンピュータが節電モードに入っていないですか。マウス、キーボードを操作してみてください。(→p.45,46参照) <input type="checkbox"/> 節電モードに入っていて他の信号を表示させたい場合はディスプレイの左・右のコントロールボタンで切り換えてください。リモコンの場合は、リモコンのRGBボタンを押して電源を立ち上げてから、信号を選択してください。(→p.47参照)
● 電源ランプが点灯する ：オレンジ色 (ゆっくり点滅)	<input type="checkbox"/> リモコンスタンバイ状態に入っていないですか。リモコンの電源ボタンまたはディスプレイの電源/エンターボタンを入れてみてください。 <input type="checkbox"/> オフタイマーが設定されていないですか。リモコンの電源ボタンまたはディスプレイの電源/エンターボタンを入れてみてください。(→p.48参照)

◆ 画面に関する症状（コンピュータ接続）

症状	チェックポイント/対処方法
<p>1. 以下のような画面が表示される(この表示は約 45 秒間表示されます。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 信号が入力されていない場合の表示です。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> この表示はディスプレイが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 <input type="checkbox"/> コンピュータの電源は入っていますか。 <input type="checkbox"/> 信号ケーブルが正しく接続されていますか。 <input type="checkbox"/> 信号が入力されているポートをリモコンの RGB ボタンまたは、ディスプレイの左・右のコントロールボタンで選択してみてください。(→p.28参照)
<ul style="list-style-type: none"> ● 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 例： 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
<p>2. 画像の位置が適正でない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リモコンの AUTO ボタンを押して、オートアジャスト調整をしてみてください。 <input type="checkbox"/> <ポジション>で調整してみてください。(アナログ信号入力時のみ) (→p.35 参照) <input type="checkbox"/> ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
<p>3. 画像の一部が表示されない / 余分な画像が表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> <解像度>で調整してみてください。(アナログ信号入力時のみ) (→p.34参照) <input type="checkbox"/> 「ノーマル」サイズで表示する場合は、水平解像度が 1280 を超える信号、または垂直解像度が 768 を超える場合、画面が欠けます。他の表示モードを選択してください。
<p>4. 画面全体がちらつく、にじみように見える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> <フェーズ>で調整してみてください。(アナログ信号入力時のみ) (→p.35 参照)
<p>5. 文字がぼやけて見える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> <スムージング>で調整してみてください。(→p.36,38参照)

症状	チェックポイント/対処方法
6. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<input type="checkbox"/> <コントラスト/ブライトネス>を調整してみてください。(→p.36,38参照)
7. AUTO ボタン (オートアジャスト機能) が正しく動作しない	<input type="checkbox"/> この機能は Macintosh や Windows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。付属の「ユーティリティディスク」をご使用ください。また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

◆ 画面に関する症状 (AV 接続)

症状	チェックポイント/対処方法
1. 以下のような画面が表示される (この表示は約 45 秒間表示されます。) <ul style="list-style-type: none"> ● 信号が入力されていない場合の表示です。 例： 	<input type="checkbox"/> AV 機器の電源は入っていますか。 <input type="checkbox"/> 信号ケーブルが正しく接続されていますか。 <input type="checkbox"/> 信号が入力されているポートをリモコンの VIDEO ボタンまたは、ディスプレイの左・右のコントロールボタンで選択してみてください。(→p.28参照)
2. 映像が暗い	<input type="checkbox"/> <コントラスト/ブライトネス>を調整してみてください。(→p.40参照)
3. 画面が正常に映らない	<input type="checkbox"/> <信号選択>の設定を確認してみてください。(→p.40参照)

◆ 画面に関する症状（全般）

症状	チェックポイント/対処方法
1. 色がおかしい、画面が薄い、濃い、色がずれている	<input type="checkbox"/> 1ドット抜きのパターンを表示していませんか。1ドット抜きのパターンを使用した場合、すべての色階調が表示されないことがあります。 <input type="checkbox"/> <カラー調整>を使って色調整をしてください。（→p.42参照）
2. 残像（p.68）が現れる	<input type="checkbox"/> 長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えた時に前の画面の残像が現れることがあります。これはパネルの特性によるもので、別の画面や動画をしばらく表示すると解消されます。（これで解消されない場合は、画面の焼き付きが考えられます。画面が焼き付いてしまうと、完全に元に戻ることはありません。） <input type="checkbox"/> 長時間同じ画面を表示するようなときには、<オフタイマー>（→p.48参照）、<スクリーンガード>（→p.50参照）の活用をおすすめします。
3. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<input type="checkbox"/> これらのドットが残るのはプラズマパネルの特性であり、故障ではありません。

◆ 音に関する症状

症状	チェックポイント/対処方法
1. ディスプレイから音がする	<input type="checkbox"/> ファンの回転音です。故障ではありません。ファンの音は周囲の温度が高いほど大きくなります。 <input type="checkbox"/> 白べた表示などの電力負荷の多い画面を表示した場合、ジーツという音がします。これはプラズマパネルの特性によるものです。表示パターンを変更してください。
2. 音声入力を接続したのに音がでない	<input type="checkbox"/> 本機はスピーカーを内蔵していないため、外部スピーカーの接続が必要です。（→p.24参照） <input type="checkbox"/> 映像信号入力と、音声入力の接続コネクタが一致していますか。 <input type="checkbox"/> 消音機能を設定していませんか。 <input type="checkbox"/> ボリューム調整をしてみてください。 <input type="checkbox"/> AV機器やコンピュータから音が出力されていますか。

◆ その他の症状

症状	チェックポイント/対処方法
1. ScreenManager が起動できない	<input type="checkbox"/> 調整ロックが機能していないか確認してみてください。(→p.57参照)
2. リモコンが効かない	<input type="checkbox"/> 調整ロックが機能していないか確認してみてください。(→p.57参照) <input type="checkbox"/> ディスプレイとリモコンの ID が一致していますか、リモコンの Port-Info ボタンを押して確認してみてください。一致していない場合には、リモコンの ID を設定してください。(→p.28参照) <input type="checkbox"/> 本機の近くで電子点灯 (インバータ) 回路方式の蛍光灯を点灯するとリモコンが動作しないことがあります。蛍光灯から離してご使用ください。 <input type="checkbox"/> リモコンの MOUSE/MONITOR スイッチが「MOUSE」になっていないか確認してください。 <input type="checkbox"/> リモコンの送信部をディスプレイの受信部 (正面下側) に向けて操作してください。 <input type="checkbox"/> リモコンに電池が正しく挿入されているか確認してください。(→p.13参照) <input type="checkbox"/> リモコンの電池が消耗したのかもしれませんが。電池を交換してみてください。(→p.13参照)

第7章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の溶剤については上記の注意を参照してください。）

パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。
- パネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。

第 8 章 仕様

パネル	50 型カラーPDP、視野角：上下 160°、左右 160° 保護パネル付（反射防止フィルム）	
ドットピッチ	0.858mm（水平）×0.808mm（垂直）	
水平走査周波数	31.5kHz～94kHz デジタル信号入力時：31.5kHz～64kHz	
垂直走査周波数	50Hz～85 Hz ノンインターレス （1600×1200 時は 75Hz まで） デジタル信号入力時：60Hz、70Hz（VGA TEXT 時）	
解像度	1280 ドット×768 ライン	
ドットクロック（最大）	202.5MHz デジタル信号入力時：108MHz	
表示色	1677 万色	
表示サイズ	1098.2mm（水平）×620.5mm（垂直）	
電源	100VAC、50/60Hz、4.2A	
消費電力	最小（通常）：400W、 最大：430W（オプションスピーカー使用時） 節電モード：3W 以下、リモコンスタンバイ：0.3W 以下	
映像信号		
PC1/2 INPUT	D-SUB15 （ミニ）	同期信号形式： a)セパレート、TTL、正/負極性 b)コンポジット、TTL、正/負極性 c)シンクオングリーン、0.3Vp-p 映像信号：RGB アナログ、正極性(0.7Vp-p/75Ω)
PC1/2 OUTPUT	D-SUB15 （ミニ）	同期信号形式： a)セパレート、TTL、正/負極性 b)コンポジット、TTL、正/負極性 c)シンクオングリーン、入力±10% 映像信号：RGB アナログ、正極性(入力±10%/75Ω)
PC3 INPUT	DVI-D	伝送方式：TMDS（Single Link）
AV1 INPUT	D 端子	Component video 信号方式：480i、480p、720p、1080i/1035i
AV1 OUTPUT	D 端子	Component video 信号方式：480i、480p、720p、1080i/1035i
AV2 INPUT	RCA	Composite video 1.0Vp-p/75Ω（NTSC/PAL/SECAM）
	S 端子	Y/C Separate video Y：1.0Vp-p/75Ω、 C：0.28Vp-p（NTSC）、0.3Vp-p（PAL/SECAM）
AV2 OUTPUT	S 端子	Y/C Separate video Y：入力±10%/75Ω、C：入力±10%（NTSC/PAL/SECAM）
音声入力 INPUT	RCA	L/R 入力 500mVrms 入力インピーダンス 30kΩ
音声出力 OUTPUT	ライン	L/R 入力±10% 出力インピーダンス 1kΩ
	スピーカー	L/R 5W+5W 出力負荷 6～8Ω

マウス OUTPUT*	PS/2、USB ポート (シリーズ B)
ビデオ信号メモリー	10 種
プラグ&プレイ機能	VESA DDC 2B
寸法 (本体)	1217mm (幅) × 718mm (高さ) × 117mm (奥行き)
寸法 (スタンド付)	1217mm (幅) × 751mm (高さ) × 265mm (奥行き)
重量 (本体)	44kg
重量 (スタンド付)	45kg
環境条件	動作温度範囲：0°C~40°C、 輸送および保存温度範囲：-20°C~60°C、 相対湿度範囲：30%~80% R.H. (非結露状態)

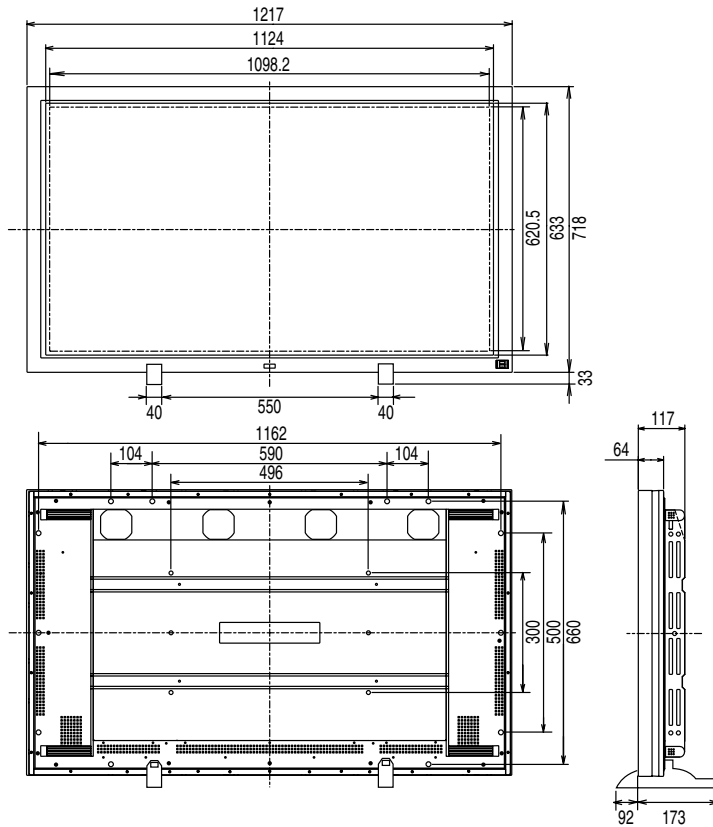
* リモコンをマウス機能として使用する場合にのみ使用します。

■主な初期設定 (工場出荷設定) 値

項目	初期値			
	コンピュータ信号		AV 機器信号	
	D-Sub	DVI	D1-D4	S-Video/Video
コントラスト	50%			
ブライトネス	50%			
スクリーンサイズ	フルスクリーン			
マルチパネル	1×1			
階調伸張	—		最小	
カラーモード	1			
信号選択	—		しない	オート
ボリューム	0			
オーディオモード	ステレオ			
PowerManager	オフ			
タイマー設定	無効			
ケーブル	1.8-10.0m	—		
センサーID	1			
スクリーンガード	<ul style="list-style-type: none"> ● ピークリミット：ノーマル ● ポジション/ストレッチ/スクリーンセーバー：オフ 			
メニュー回転	ノーマル			
電源ランプ	有効			
周波数選択	60Hz	—		
ロゴ	無効			
言語選択	日本語			

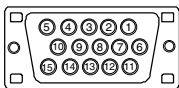
■外観寸法

単位：mm



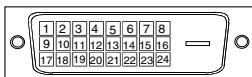
■入力信号接続

●D-SUB15 (ミニ) コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	赤	6	赤グランド	11	(10ピンとショート)
2	緑	7	緑グランド	12	データ (SDA)
3	青	8	青グランド	13	水平同期
4	グランド	9	/	14	垂直同期
5	/	10	グランド	15	クロック (SCL)

●DVI-D コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data2-	9	TMDS Data1-	17	TMDS Data0-
2	TMDS Data2+	10	TMDS Data1+	18	TMDS Data0+
3	TMDS Data2/4 Shield	11	TMDS Data1/3 Shield	19	TMDS Data0/5 Shield
4	NC*	12	NC	20	NC
5	NC	13	NC	21	NC
6	DDC Clock (SCL)	14	+5V Power	22	TMDS Clock shield
7	DDC Data (SDA)	15	Ground (For +5V)	23	TMDS Clock+
8	NC	16	Hot Plug Detect	24	TMDS Clock-

(*NC: No Connection)

第9章 用語集

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つ。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル/アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI-DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの節電機能のこと。ディスプレイの電源状態については Monitor ON (オペレーションモード) と Active Off (節電モード) が必須となっています。

D 端子

日本電子機械工業会 (EIAJ) が定めた民生用コンポーネント用信号端子のこと。Y/Pb(Cb)/Pr(Cr)の3信号を複合ケーブル1本で接続することができるというメリットがあります。現在D端子が対応する映像のフォーマットは2000年12月現在でD1~D4まで実現されています。

EIZO MPMS (EIZO Monitor PowerManager Signaling)

当社が採用している節電機能のこと。コンピュータからのビデオ信号を判別することによって、ディスプレイの消費電力を抑えるしくみになっています。

S ビデオ

色を制御する色信号と明暗を制御する輝度信号が分離している映像信号です。混成による表示品質の低下がありません。

TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける信号伝送方式の一つ。

VESA DPMS (Video Electronics Standard Association - Display Power Management Signaling)

VESA では、コンピュータ用ディスプレイの省エネ化を実現させるため、コンピュータ (グラフィックスボード) 側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとディスプレイ間の信号の状態について定義しています。

アスペクト比

表示画面の幅と高さの比率のこと。通常のテレビでは、4:3、ワイドテレビ、ハイビジョンテレビでは 16:9 です。

解像度

プラズマディスプレイパネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機のパネルは横 1280 個、縦 768 個の画素が敷き詰められています。このため、1280×768 の解像度であれば、画像は画面いっぱいに表示されますが、640×400 などの低解像度の画像は画面の中央に小さく表示されます。また、入力信号の解像度が横 1280、縦 768 を越える解像度の場合には、越えた分は表示されません。(表示可能な解像度については p.32,37 を参照してください。)

クロック

アナログ入力方式のディスプレイにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィクスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン調整

赤、緑、青のそれぞれの色の強さを調整するものです。液晶ディスプレイではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルターに通す光の強さ(量)をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

コンポジット

色を制御する色信号と明暗を制御する輝度信号を1つに組み合わせた映像信号です。一般的なビデオ機器でよく採用されています。

コンポーネント

Y/Cb/Cr、Y/Pb/Pr など、色を制御する色信号と明暗を制御する輝度信号をそれぞれ単独に組み合わせて扱う映像信号の総称です。単に「色差信号」と呼ぶこともあります。

残像現象

長時間同じ画面を表示することによって、画面表示を変えたときに前の画面が残像として見えてしまう現象です。これはプラズマパネルの特性によるもので、別の画面や動画をしばらく表示すると解消されます。これで解消されない場合は、画面の焼き付きが考えられます。画面が焼き付いてしまうと、完全に元に戻ることはありません。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングのタイミングのこと。このタイミングを調整することをフェーズ調整といい、クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことでクリアな画像が得られます。

第 10 章 さくいん

A

AV 機器との接続 21

D

DVI 67

DVI DMPM 46, 67

D 端子 67

E

EIZO MPMS 46, 67

I

ID 26, 28, 54

P

PowerManager 45

S

ScreenManager 操作 29

S ビデオ 22, 67

T

TMDS 67

V

VESA DPMS 45, 67

あ

アスペクト比 32, 67

アフターサービス 71

色合い 43

色の濃さ 43

絵表示について 2

オーディオモード 44

オート 34

お手入れ 63

オフタイマー 48

音声の接続 24

音声の調整 44

か

外観寸法 66

解像度 32, 34, 37, 68

階調伸張 41

各部の名称 11

画面調整 (AV 機器) 39

画面調整 (コンピュータ アナログ信号) 32

画面調整 (コンピュータ デジタル信号) 37

カラー調整 42

カラーモード 42

機能一覧 30

強制オフ 56

強制オン 56

クロック 35, 68

ゲイン 42, 68

ケーブル 33

言語選択 31

故障かなと思ったら 58

コントラスト 36, 38, 40

コントロールボタン 11

コンピュータとの接続 17

梱包品 10

コンポーネント 21, 68

コンポジット 22, 68

さ

残像 61, 68

時刻設定 52

周波数選択 36, 38

仕様 64

使用上の注意 4

消音 44

消費電力 64

初期設定 52, 65

信号選択 40

スクリーンガード 50

スケジュール 49

スタンド取り付け方法 14

スムージング 36, 38, 41

接続手順 17

設置 14

節電機能 45

センサーID 55

操作パネル 11

た

タイマー設定	48
調整ロック機能.....	57
電源/エンターボタン	11
電源コントロール	45
電源ランプ.....	11, 56
電池	13
トーン.....	44

な

入力信号接続.....	66
入力信号の切り換え	28

は

保障期間	71
ピクチャーインピクチャー.....	51
ピクチャー調整.....	34, 37
表示サイズ.....	32, 37, 39
フェーズ	35, 68
複数台使う.....	53
ブライトネス	36, 38, 40
ポジション.....	35
ボリューム.....	44

ま

マウス機能.....	20
マルチパネル	53
メニュー回転	31
メニューカラー.....	31
メニューポジション	31

や

焼き付き	8, 50, 61
用語集.....	67

ら

リセット	42, 43, 49, 52
リモコン	11, 13
リモコン機能	27
リモコン受信範囲	13
リモコン操作	26
レンジ調整.....	34
ロゴ	52

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート一覧は裏表紙に記載してあります。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低5年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。
- お早めにユーザー登録されることをおすすめいたします。（登録方法については、保証書を参照してください。）

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ/グラフィックスボード/OS・システムのバージョン/表示解像度等）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

廃棄およびリサイクルについて

- 本製品の電子部品、プリント基板、金属部品等には重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、シアン、ヒ素等が含まれています。ご使用後は、回収・リサイクルにお出してください。
- 本製品は、法人ユーザー様が使用后産業廃棄物として廃棄される場合、有償でお引取りいたします。詳細についてはエイゾークイックコールセンターまでお問い合わせください。

[エイゾークイックコールセンター]

- 電話での問合せ受付

（本社）TEL 076-274-2474

（東京）TEL 03-5476-8220

（大阪）TEL 06-6396-0357

月曜日～金曜日（祝祭日及び弊社休日を除く）10：00～17：00

- FAX での問合せ受付

FAX 076-274-2416 24 時間

但し、センターからのご回答は同センター営業時間帯（電話受付時間帯と同じ）

製品に関する技術的なご質問、アフターサービスに関するお問い合わせは
最寄りのエイゾーサポートまでお願いします。

エイゾーサポート仙台

〒984-0015 仙台市若林区卸町4-3-9 バイパス斎喜ビル
TEL (022) 782-9770 FAX (022) 782-9771

エイゾーサポート東京

〒330-0834 さいたま市天沼町1-76-1 沢田ビル
TEL (048) 642-7717 FAX (048) 642-5233

エイゾーサポート厚木

〒243-0021 厚木市岡田3201番地 シカシン75ビル
TEL (046) 229-7003 FAX (046) 229-7005

エイゾーサポート名古屋

〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-5 名古屋錦第一生命ビル
TEL (052) 232-0151 FAX (052) 232-7705

エイゾーサポート北陸

〒924-8566 石川県松任市下柏野町153番地
TEL (076) 274-6260 FAX (076) 274-2416

エイゾーサポート大阪

〒660-0862 尼崎市開明町2-11 神鋼建設ビル
TEL (06) 6414-3770 FAX (06) 6414-3771

エイゾーサポート福岡

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル
TEL (092) 762-2170 FAX (092) 715-7781

*営業時間/月曜日～金曜日(祝祭日及び弊社休日を除く) 9:30～17:30

ご購入、販売店のご紹介、お取り扱い方法についてのお問い合わせは
最寄りの弊社営業所までお願いします。

東京営業所

〒105-0014 東京都港区芝1-5-9 住友芝ビル2号館
TEL (03) 3455-7701 FAX (03) 3455-7745

名古屋営業所

〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-5 名古屋錦第一生命ビル
TEL (052) 232-7701 FAX (052) 232-7705

北陸営業所

〒924-8566 石川県松任市下柏野町153番地
TEL (076) 277-6790 FAX (076) 277-6791

大阪営業所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビルディング
TEL (06) 4807-7707 FAX (06) 4807-7725

福岡営業所

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル
TEL (092) 715-7706 FAX (092) 715-7781

*営業時間/月曜日～金曜日(祝祭日及び弊社休日を除く) 9:00～18:00



株式会社ナナオ

〒924-8566 石川県松任市下柏野町153番地
EIZOホームページ <http://www.eizo.co.jp/>

第3版 2003年1月
Printed in Japan.

環境保護のため、再生紙を使用しています。

05C20911CQ
(KA-5092-JA)